

# 標津町教育施設整備計画（案）

令和3年2月

標津町教育委員会

## 目次

<b>1. 教育施設整備計画の背景・目的等</b> .....	<b>1</b>
(1) 背景.....	1
(2) 目的.....	1
(3) 計画期間.....	1
(4) 対象施設.....	2
(5) 計画の位置づけ.....	3
<b>2. 上位・関連計画にみる、教育施設等の今後の管理方針</b> .....	<b>4</b>
(1) 標津町公共施設等総合管理計画より.....	4
<b>3. 対象施設の実態</b> .....	<b>6</b>
(1) 対象施設一覧.....	6
(2) 対象施設の立地状況.....	7
(3) 教育施設等の運営・利用状況.....	10
(4) 施設維持管理費の推移.....	15
(5) 施設老朽化の実態.....	19
<b>4 施設整備の基本的な方針等</b> .....	<b>28</b>
(1) 教育施設の規模・配置計画等の方針.....	28
(2) 改修等の基本的な方針.....	32
<b>5 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等</b> .....	<b>34</b>
(1) 改修等の整備水準.....	34
(2) 維持管理の項目・手法等.....	35
<b>6 実施計画</b> .....	<b>36</b>
(1) 改築・改修等の優先順位付け.....	36
(2) 実施計画.....	39
<b>7 長寿命化の継続的運用方針</b> .....	<b>44</b>
(1) 情報基盤の整備と活用.....	44
(2) 推進体制等の整備.....	44
(3) フォローアップ.....	44
<b>〈 資料 〉</b>	

## 1. 教育施設整備計画の背景・目的等

### (1) 背景

本町教育委員会では、昭和40年代から平成年代の中期にかけて、学校及び教育関連施設を整備してきました。しかし、これらの施設の多くが築年数の経過による老朽化等により、建替、大規模改修が必要な時期を迎えています。

今後これらの施設等の建替や改修等には多額の費用を要することが見込まれる一方、少子高齢化及び人口減少の進展等により、町財政状況は一層厳しさを増していくことが予測されます。

このような状況を踏まえて、本町では、町有施設に関する管理方針を定めた「標津町公共施設等総合管理計画（平成29年3月）」、また、教育委員会で所有する学校施設においては、中長期的な整備方針を定めた「標津町学校施設長寿命化計画（令和2年1月）」を策定しています。

### (2) 目的

「標津町教育施設整備計画」（以下「本計画」）は、「標津町公共施設等総合管理計画」及び「標津町学校施設長寿命化計画」に基づき、老朽化が進む建築系教育関連施設について、長寿命化によるものの他、集約化や複合化、用途変更や廃止などの施設の特性に応じた、再編・保全に関する計画を策定することで、財政負担の平準化及びライフサイクルコストの縮減を図ることを目的とします。

### (3) 計画期間

計画期間は令和3年度から令和12年度までの10年間とします。ただし、計画の進捗及び財政状況、町の公共施設等総合管理計画等との整合により、必要に応じて5年程度ごとに見直すものとします。

また、「標津町公共施設総合管理計画」では、目標年次を令和38年としていることから、本計画においても、今後40年程度の中長期的な見通しを検討するものとします。

(4) 対象施設

本計画の対象は、標津地区及び川北地区にある、以下22施設です。

大分類	No.	施設名	建物名	建設年度	延床面積	所在地	所管
学校教育系施設	1	学校給食センター	学校給食センター	1993	515.10	南1条西3丁目1-4	給食センター
	2	北標津保管庫	旧北標津小中学校2	2005	101.00	字川北2227番地1	ポー川
	3	薫別保管庫	旧薫別小中学校	1975	586.00	字薫別4番地16	ポー川
社会教育系施設	4	標津町図書館	標津町図書館	1967	665.50	南1条西2丁目1-1	図書館
	5	標津町生涯学習センター	「あすばる」	1995	2,942.85	南1条西5丁目5-3	あすばる
			標津町ふるさと館	1999	842.00		
	6	川北生涯学習センター	川北生涯学習センター	1970	381.00	字川北基線12番地1	川北学習センター
				1986	589.00		
	7	ポー川史跡自然公園	① 管理事務所	1979	77.76	伊茶仁2784番地	ポー川
			② 博物館	1979	345.00		ポー川
			③ 学校	1981	207.00		ポー川
			④ 農家	1981	92.00		ポー川
			⑤ 納屋	1981	49.00		ポー川
			⑥ 番屋	1983	103.00		ポー川
			⑦ 網蔵	1983	129.00		ポー川
			⑧ 海底電信基地	1983	12.00		ポー川
			⑨ 休憩所	1985	77.00		ポー川
⑩ トイレ海			1980	20.00	ポー川		
⑪ トイレ山			1983	32.00	ポー川		
スポーツ・レクリエーション系施設	8	標津町総合体育館	標津町総合体育館	1976	2,333.99	南2条西4丁目1番地1	体育館
	9	標津町屋内水泳プール	屋内水泳プール	1980	944.00	南2条西4丁目1番地1	体育館
	10	町営スケートリンク	スケートリンクハウス	1994	244.00	南2条西4丁目1番地1	体育館
	11	鳩ヶ丘体育館	鳩ヶ丘体育館	1985	733.09	南3条西4丁目1番地1	体育館
	12	望ヶ丘パークゴルフ場	管理棟	1997	48.60	南7条西2丁目1番地9	体育館
	13	川北体育館	川北体育館	1992	852.58	字川北基線13-1	川北学習センター
	14	川北パークゴルフ場	管理棟	1995	62.10	字川北183-3	体育館
	15	茶志骨コミュニティセンター	茶志骨コミュニティセンター	1994	363.00	字茶志骨804-44	体育館
	16	上古多糠体育館	上古多糠体育館	1984	386.00	字古多糠678番地2	体育館
17	北標津体育館	北標津体育館	1977	707.03	字川北2228番地2	体育館	
住民文化系施設	18	文化ホール	標津町農村環境改善センター	1986	1,168.20	南1条西2丁目1番地1	あすばる
子育て支援施設	19	標津認定こども園	「あおぞら」	2017	1,543.00	南2条西4丁目1番地3	こども園
	20	川北認定こども園	「にじいろ」	1979, 2003	657.00	字川北93-21	こども園
	21	標津キラリ児童館	標津キラリ児童館	2000	406.00	南1条西2丁目1番地1	図書館
	22	川北児童館	川北児童館	2000	89.00	字川北基線13番地1	川北学習センター

■対象施設内訳

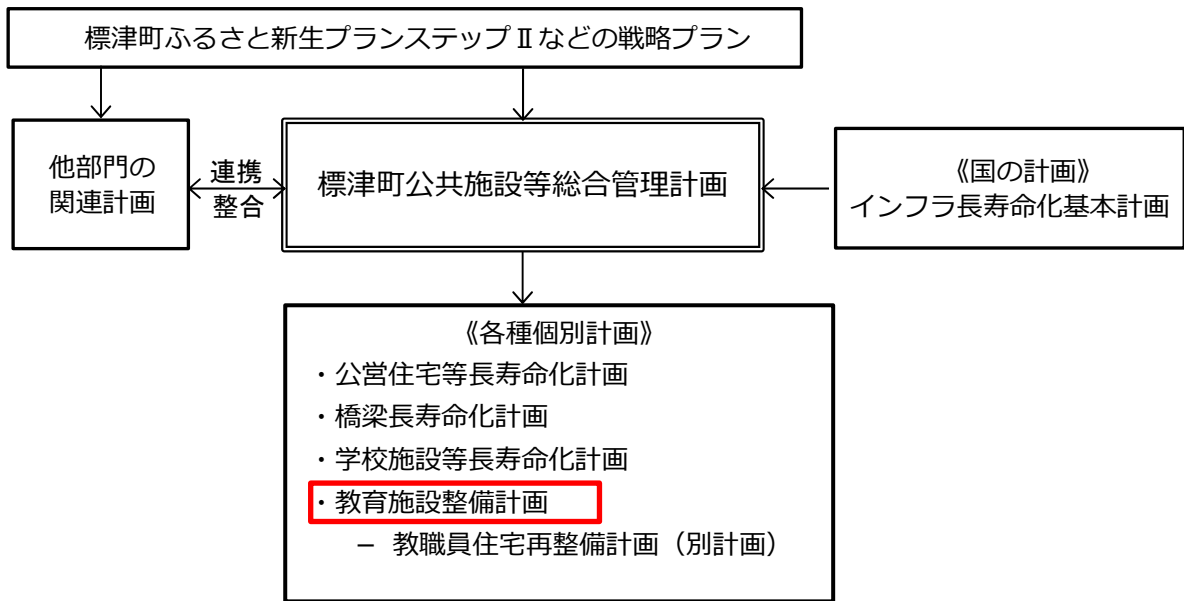
	施設数	棟数
① 学校教育系施設	3施設	3棟
② 社会教育系施設	4施設	16棟
③ スポーツレクリエーション系施設	10施設	11棟※
④ 住民文化系施設	1施設	1棟
⑤ 子育て支援系施設	4施設	4棟
合計	22施設	35棟

※：総合体育館はここでは「アリーナ棟」「管理棟」と2棟に分けている

### (5) 計画の位置づけ

本計画は、現行の「標津町ふるさと新生プランステップⅡ」などの総合的戦略プランを上位計画とし、平成28年度に策定した「標津町公共施設等総合管理計画」の基本方針や用途別の改善方針に基づき、個別施設の老朽化状況の詳細調査や施設評価を実施し、施設の長寿命化など、施設ごとの保全や再編方針を示す個別施設計画として策定するものです。

#### ■計画の位置づけ



## 2. 上位・関連計画にみる、教育施設等の今後の管理方針

### (1) 標津町公共施設等総合管理計画より

平成29年3月に策定した、「標津町公共施設等総合管理計画」では、施設類型毎の管理に関する基本的な方針を示しています。

#### ① 学校教育系施設

- ・計画等：学校施設管理方針
- ・期間：平成29年～48年度
- ・管理方針：学校施設については、既に統廃合し、小学校 2 校、中学校 2 校となっている現状であり、廃校施設の早期除却が求められていることから、財源確保や負担の平準化の観点から年次計画により除却を実施します。現行の小学校 2 校、中学校 2 校、給食センターについては、維持補修を推進し、場合によっては大規模改修により延命化を図るものとします。

#### ② 社会教育系施設

- ・計画等：社会教育施設管理修繕計画
- ・期間：平成29年～38年度
- ・管理方針：現行施設の延命のための維持補修の推進とともに、財政と連動した大規模改修時期を見極め、負担の平準化を図ります。

#### ③ スポーツ・レクリエーション施設

- ・計画等：体育施設等（レクリエーション施設を含む）管理修繕計画
- ・期間：平成29年～38年度
- ・管理方針：総合体育館アリーナの耐震化と住民人口を踏まえた体育施設の集約化（維持が限界となる老朽施設の用途廃止・除却）を検討し、実施します。また、根室管内唯一のスキー場としてどこまで存続していけるかが課題ではありますが、可能な限りの延命を実施し、施設更新段階ではスキー人口の減少などを加味しながら、廃止を視野に入れ検討していきます。その他観光レクリエーション施設については、維持管理強化による延命を図り、施設が老朽化した場合には廃止を検討します。現行施設の延命のための維持補修の推進とともに、財政と連動した大規模改修時期を見極め負担の平準化を図ります。

#### ④ 住民文化系施設

- ・計画等：町内会館等更新・管理修繕計画
- ・期間：平成29年～38年度
- ・管理方針：施設延命のための維持補修の充実を図るとともに、広大な面積を地域エリアとして分けすることを視野に入れた類似施設との集約化（老朽施設の用途廃止、取り壊しを含む）に取り組めます。

⑤ 子育て支援系施設

- 計 画 等：子育て支援施設管理方針
- 期 間：平成29年～38年度
- 管理方針：幼保連携による標津こども園が新設（平成29年度開設）されたことにより、標津市街の旧保育園、幼稚園、旧母子通園センター、休園中のへき地保育園は用途廃止となり、一部の施設は除却しますが、耐用年数がある施設は躯体診断等により使用可能であると認められる場合は、多用途への転用を検討します。児童館施設については、維持管理を強化し、延命に努めるものとします

### 3. 対象施設の実態

#### (1) 対象施設一覧

本計画の対象施設は以下のとおり、22施設35棟です。

ただし、ポー川史跡自然公園の施設については、本年（令和2年）6月に日本遺産に登録されたことを受け、③～⑪の施設について現況調査は実施しますが、今後の整備等については、日本遺産としての整備構想等を待って方針を検討することとします。

#### ■計画対象施設一覧

大分類	No.	施設名	建物名	建設年度	延床面積	所在地	所管	
学校教育系施設	1	学校給食センター	学校給食センター	1993	515.10	南1条西3丁目1-4	給食センター	
	2	北標津保管庫	旧北標津小中学校2	2005	101.00	字川北2227番地1	ポー川	
	3	薫別保管庫	旧薫別小中学校	1975	586.00	字薫別4番地16	ポー川	
社会教育系施設	4	標津町図書館	標津町図書館	1967	665.50	南1条西2丁目1-1	図書館	
	5	標津町生涯学習センター	「あすばる」	1995	2,942.85	南1条西5丁目5-3	あすばる	
			標津町ふるさと館	1999	842.00			
	6	① 川北生涯学習センター	川北生涯学習センター	1970	381.00	字川北基線12番地1	川北学習センター	
		② 川北コミュニティセンター		1986	589.00			
	7	①	ポー川史跡自然公園	管理事務所	1979	77.76	伊茶仁2784番地	ポー川
		②	ポー川史跡自然公園	博物館	1979	345.00		ポー川
		③	ポー川史跡自然公園	学校	1981	207.00		ポー川
		④	ポー川史跡自然公園	農家	1981	92.00		ポー川
		⑤	ポー川史跡自然公園	納屋	1981	49.00		ポー川
		⑥	ポー川史跡自然公園	番屋	1983	103.00		ポー川
⑦		ポー川史跡自然公園	網蔵	1983	129.00	ポー川		
⑧		ポー川史跡自然公園	海底電信基地	1983	12.00	ポー川		
⑨		ポー川史跡自然公園	休憩所	1985	77.00	ポー川		
⑩	ポー川史跡自然公園	トイレ海	1980	20.00	ポー川			
⑪	ポー川史跡自然公園	トイレ山	1983	32.00	ポー川			
スポーツ・レクリエーション系施設	8	標津町総合体育館	標津町総合体育館	1976	2,333.99	南2条西4丁目1番地1	体育館	
	9	標津町屋内水泳プール	屋内水泳プール	1980	944.00	南2条西4丁目1番地1	体育館	
	10	町営スケートリンク	スケートリンクハウス	1994	244.00	南2条西4丁目1番地1	体育館	
	11	鳩ヶ丘体育館	鳩ヶ丘体育館	1985	733.09	南3条西4丁目1番地1	体育館	
	12	望ヶ丘パークゴルフ場	管理棟	1997	48.60	南7条西2丁目1番地9	体育館	
	13	川北体育館	川北体育館	1992	852.58	字川北基線13-1	川北学習センター	
	14	川北パークゴルフ場	管理棟	1995	62.10	字川北183-3	体育館	
	15	茶志骨コミュニティセンター	茶志骨コミュニティセンター	1994	363.00	字茶志骨804-44	体育館	
16	上古多糠体育館	上古多糠体育館	1984	386.00	字上古多糠678番地2	体育館		
17	北標津体育館	北標津体育館	1977	707.03	字川北2228番地2	体育館		
住民文化系施設	18	文化ホール	標津町農村環境改善センター	1986	1,168.20	南1条西2丁目1番地1	あすばる	
子育て支援施設	19	標津認定こども園	「あおぞら」	2017	1,543.00	南2条西4丁目1番地3	こども園	
	20	川北認定こども園	「にじいろ」	1979, 2003	657.00	字川北93-21	こども園	
	21	標津キラリ児童館	標津キラリ児童館	2000	406.00	南1条西2丁目1番地1	図書館	
	22	川北児童館	川北児童館	2000	89.00	字川北基線13番地1	川北学習センター	



## (2) 対象施設の立地状況

対象とする施設は、標津市街に11施設、川北市街に5施設、その他地区に6施設立地しています。

### ■対象施設位置図



	番号	施設名	建物名	構造	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数
						西暦	和暦	
学校 教育系	2	北標津保管庫		S	101	1968	S43	52
	3	薫別保管庫		S	586	1975	S50	45
社会 教育系 施設	7	ポー川史跡	管理事務所	W	77	1979	S54	41
		ポー川史跡	博物館	RC	345	1979	S54	41
スポーツ・ レクリエー ション系施 設	15	茶志骨コミュニティセンター		S	363	1994	H6	26
	16	上古多糠体育館		S	386	1984	S59	36
	17	北標津体育館		S	707	1977	S52	43

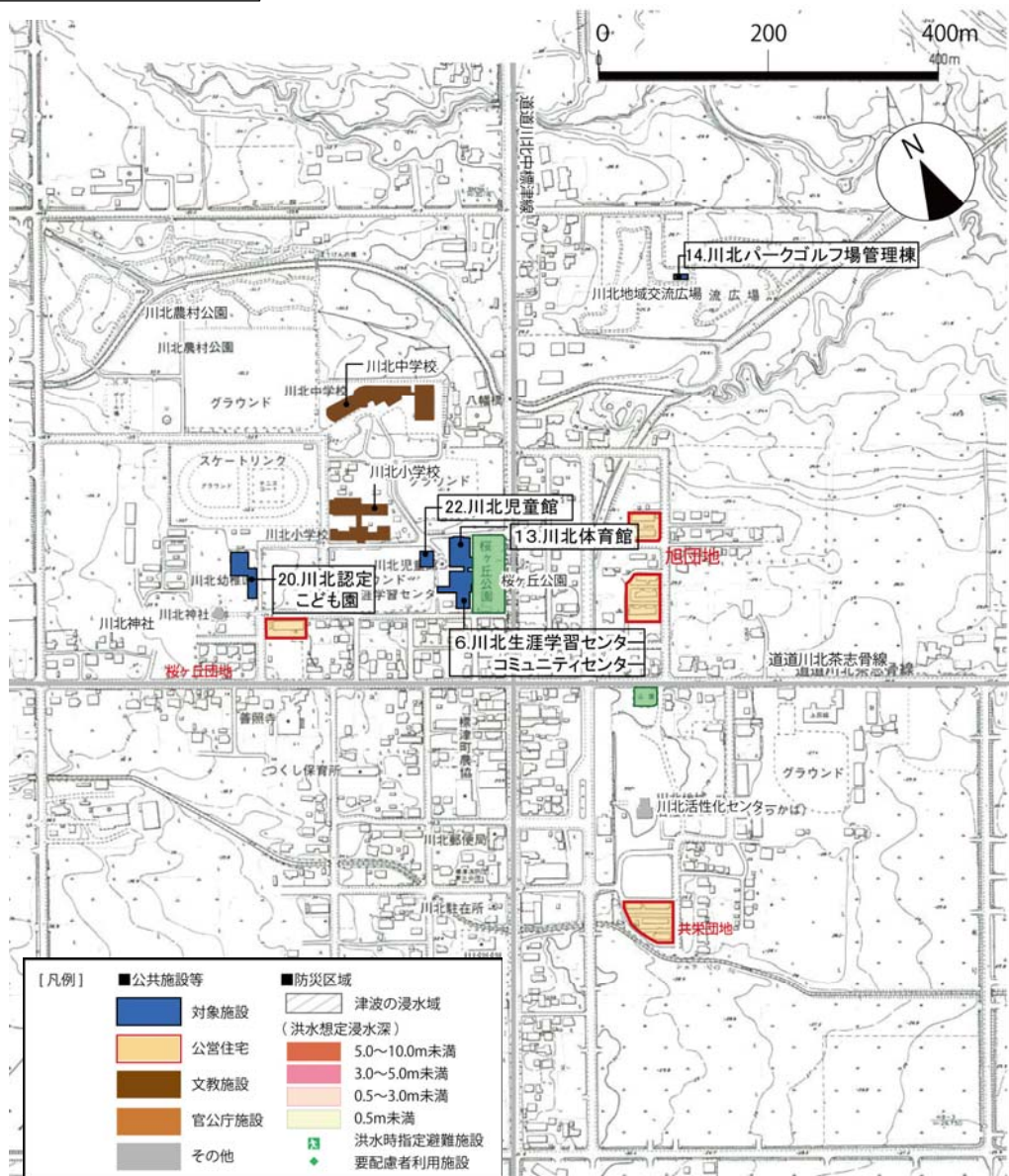
■対象施設位置図



	番号	施設名	建物名	構造	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数
						西暦	和暦	
学校教育系	1	学校給食センター		RC	515	1993	H5	27
社会教育系施設	4	標津町図書館		RC	665	1967	S42	53
	5	標津町生涯学習センター	あすばる	RC	2,942	1995	H7	25
スポーツ・レクリエーション系施設		標津町生涯学習センター	ふるさと館	RC	842	1999	H11	21
	8	標津町総合体育館	管理棟	RC	765	1976	S51	44
		標津町総合体育館	アリーナ棟	RC	1,568	1976	S51	44
	9	屋内水泳プール	プール	S	944	1980	S55	40
	10	スケートリンクハウス		W	244	1994	H6	26
	11	鳩ヶ丘体育館		S	733	1985	S60	35
	12	望ヶ丘パークゴルフ休憩ハウス		W	48	1997	H9	23
文化系	18	文化ホール		RC	1,168	1986	S61	34
子育て支援系施設	19	標津認定子ども園	あおぞら		1,543	2017	H29	3
	21	標津キラリ児童館		S	406	2000	H12	20



川北市街



	番号	施設名	建物名	構造	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数
						西暦	和暦	
社会教育系施設	6	川北生涯学習センター		RC	381	1970	S45	50
		川北コミュニティセンター		RC	589	1986	S61	34
スポーツ・レクリエーション系	13	川北体育館		S	852	1992	H4	28
	14	川北パークゴルフ場管理棟		W	62	1995	H7	25
子育て支援系施設	20	川北認定子ども園	にじいろ	S	657	1979	S54	41
	22	川北児童館		S	89	2000	H12	20

### (3) 教育施設等の運営・利用状況

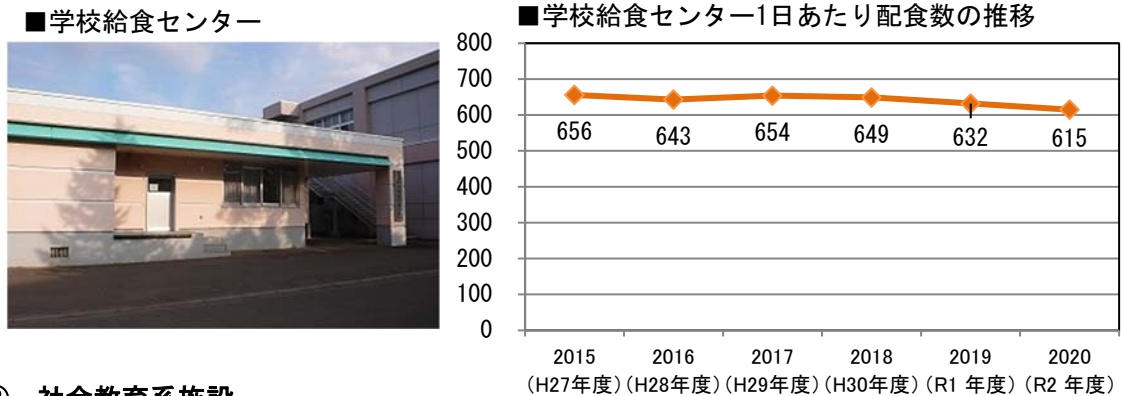
ここでは、各施設における、過去5年間の利用状況や運営状況を確認します。

#### ① 学校教育系施設

標津町学校給食センターでは、町内小中学校4校の他に、子ども園2園や標津高校にも給食を提供しており、1日600食程度を配食しています。

平成27年(2015)年度以降の配食数をみると、平成27年が最も多く1日平均650食を超えていましたが近年やや減少し、令和2年(6月現在)度では615食程度となっています。

当該給食センターは現在、ウェットシステム<sup>※</sup>で運用しています。



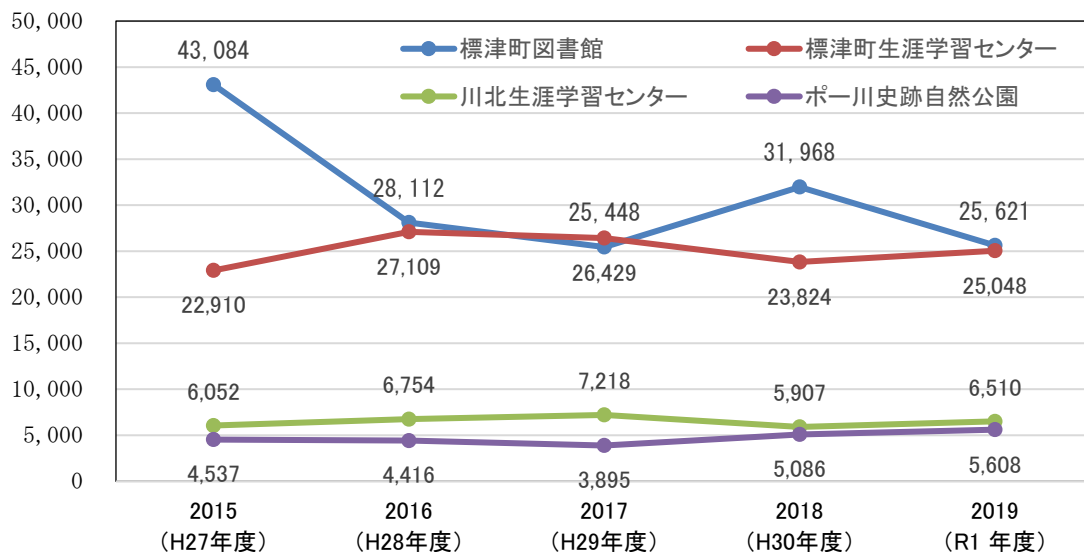
#### ② 社会教育系施設

図書館や生涯学習センター、コミュニティセンター等の社会教育施設では、図書館の利用者数が最も多くなっています。過去5年間の図書館利用者数は平成27(2015)年が最も多く4万人を越えていましたが、平成28(2016)年から利用者が減少、年間2万5千人程度の利用となっています。

次に多いのは生涯学習センターあすばるで、平成27(2015)年から28(2016)年にかけて増加しましたが、以降減少し年間2万5千人程度で横ばいとなっています。

川北生涯学習センター・コミュニティセンター及び、ポー川史跡自然公園は5千人~6千人程度で推移しています。ポー川史跡自然公園は本年日本遺産に登録されたのをきっかけに、今後來場者が多くなることが想定されます。

■年間利用者数の推移—社会教育系施設



※:基本的に床面に排水を直接流し、床の勾配を利用して排水溝に排水を集めるシステム。常に床面は濡れた状態で運用され、水を使用する洗浄が容易な反面足元が滑りやすくなり危険性というデメリットがある

■標津町図書館



■生涯学習センター あすばると、併設のふるさと館



■ポー川史跡自然公園 博物館



■川北生涯学習センター



■川北コミュニティセンター



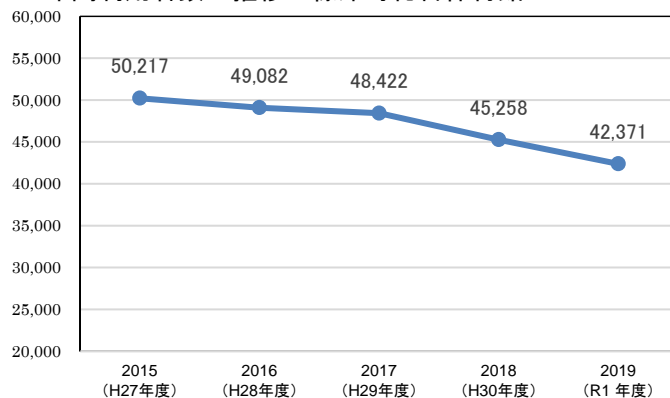
### ③スポーツ・レクリエーション系施設

#### ア) 標津町総合体育館

標津町体育館は、本町の教育施設の中で最も年間利用者数が多い施設となっています。

平成27（2015）年には年間5万人の利用者がいましたが、年々利用者は減少し、令和1（2019）年には4万人程度となっています。

■年間利用者数の推移 - 標津町総合体育館



■標津町総合体育館



#### イ) その他のスポーツ・レクリエーション施設

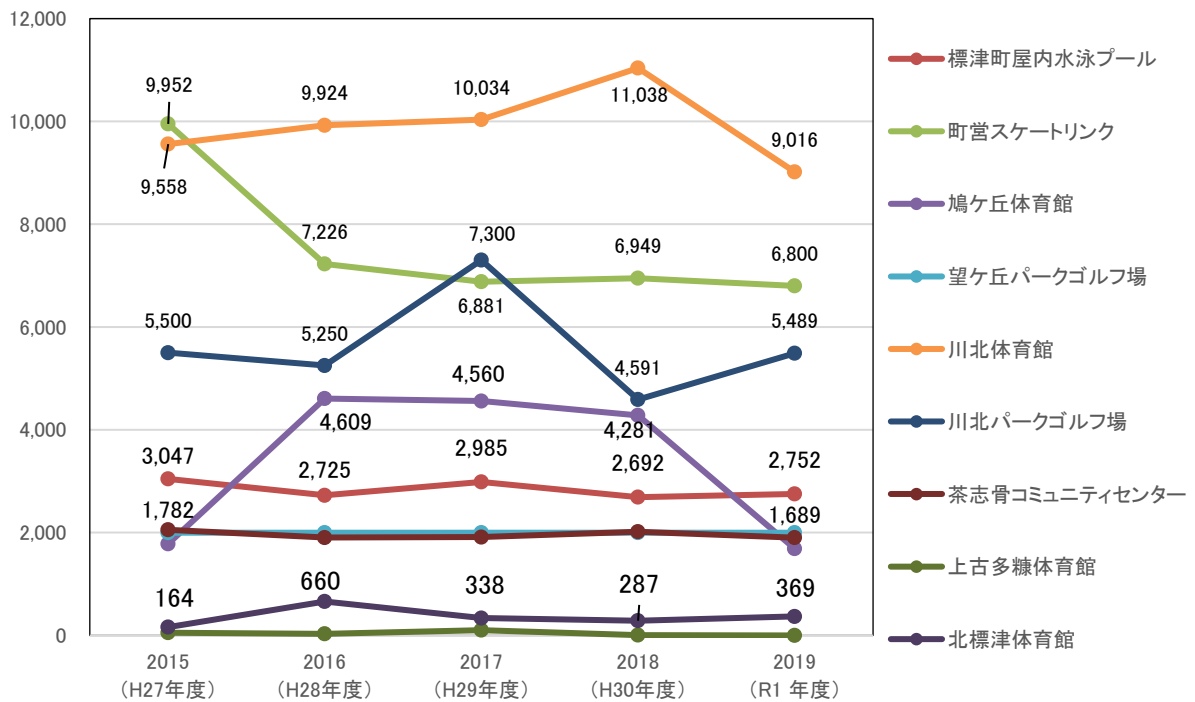
その他のスポーツ・レクリエーション施設では川北体育館が最も利用者数が多く、平成27（2015）年からは9千人から増加しながら推移していましたが、令和1年には再度9千人まで減少しています。

- ・町営スケートリンクは平成27（2015）年には1万人近い利用がありましたが、翌年には約2500人減り、その後は約7000人台で推移しています。
- ・川北パークゴルフ場は2017年に約7300人となりましたが以降減少し、毎年約5千人前後で推移しています。
- ・鳩ヶ丘体育館は、2016～2018年は4500人前後で推移していましたが、2019年では再度減少し、年間約1700人となっています。

また、上古多糠体育館、北標津体育館は近年利用者数が減少しており、用途廃止・解体等についての検討が始められているところです。



■スポーツ・レクリエーション施設の年間利用者数の推移-標津町総合体育館以外



■鳩ヶ丘体育館



■屋内水泳プール



■スケートリンクハウス



■茶志骨コミュニティセンター



■望ヶ丘PG休憩ハウス



■川北PG場管理棟



■川北体育館



■上古多糠体育館



■北標津体育館



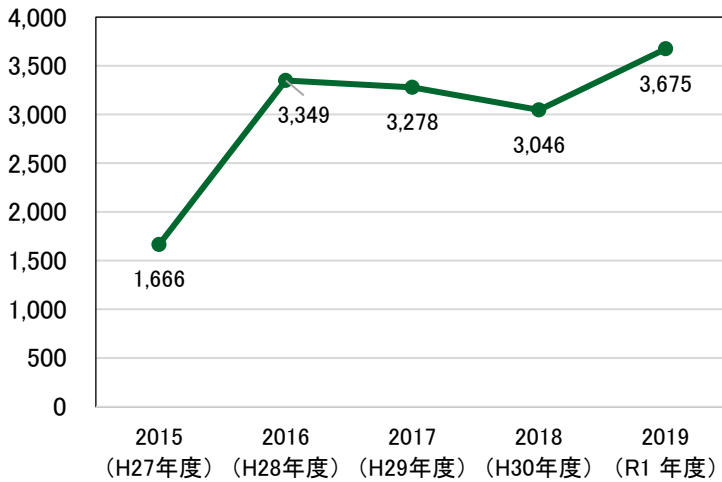
#### ④住民文化系施設

文化ホールは、平成27年までは年間1,600人弱の利用でしたが、平成28年以降、子育て支援の利用を開始したことで利用者が増加しています。

文化ホール全体では年間延べ3千人を超える利用となっていますが、大ホールについては年間数回程度で利用頻度は少なくなっています。

文化ホールについては、生涯学習センター あすぱる との機能分担など、今後の活用に向けて検討が必要です。

■文化ホール年間利用者数の推移



■文化ホール



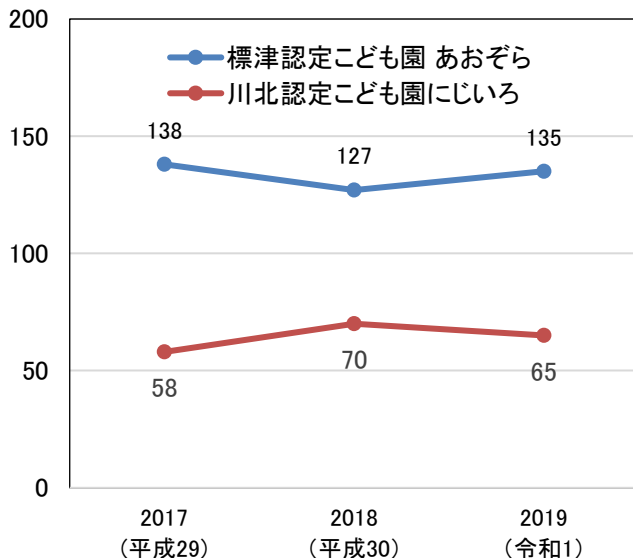
#### ⑤子育て支援施設

##### ア) 認定こども園

認定こども園は、2つの市街地に各1施設ずつ整備されています。標津市街のこども園は平成29(2017)年に建設され、町内で最も新しい教育施設ですが、近年利用人数が増え、スペースが手狭になっていることが課題となっています。

川北こども園は、昭和54年に建設された川北幼稚園を平成15(2003)年に増築し、こども園としていますが、現在、旧幼稚園については大ホールと厨房のみの利用となっており、保育室と一体利用ができない、全体としてスペースが足りないなど、使い勝手が非常に悪い状況となっています。

■こども園児童数の推移



■標津認定こども園 あおぞら



■川北認定こども園 にじいろ



ロ) 児童館

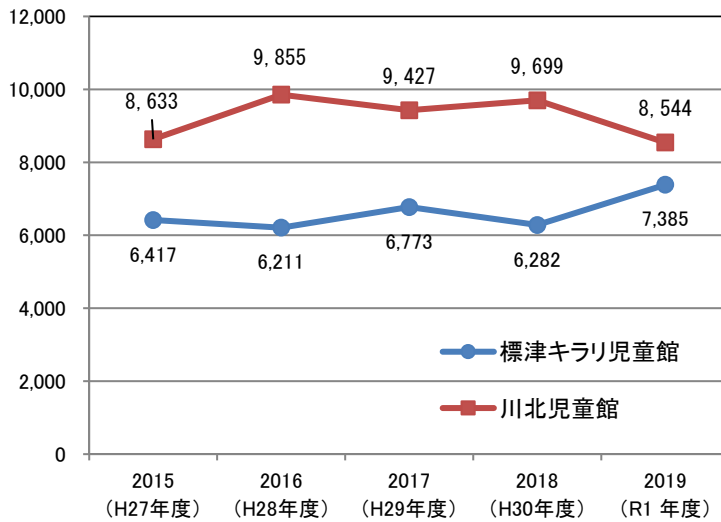
児童館は、標津市街・川北市街に各1施設ずつ整備されています。

標津市街のキラリ児童館は、隣接する図書館と渡り廊下で連結しており、児童達が図書館を利用できるようになっています。

一方川北市街の児童館は、川北体育館と渡り廊下で連結し、児童達がホールとして利用しています。

過去5年間の利用者数は、川北児童館の方が多い人数で推移していますが、平成30(2018)年以降、川北市街が減少、標津市街の利用者数が増加しています。

■児童館利用者数の推移



■標津キラリ児童館



■川北児童館





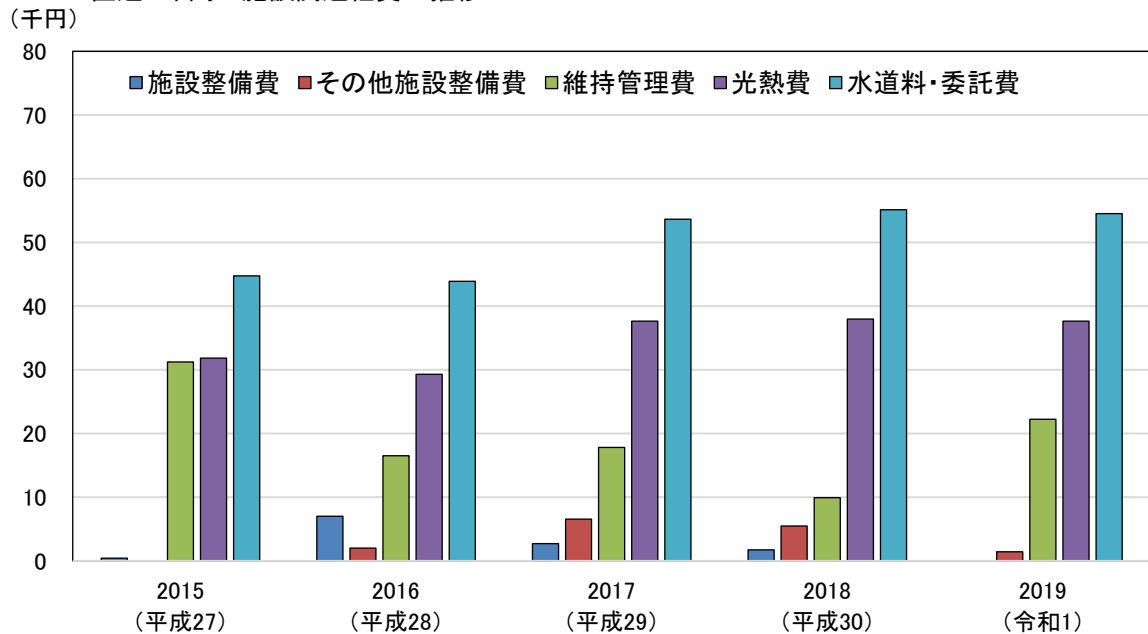
## (4) 施設維持管理費の推移

対象施設の施設関連経費は、過去5年間の年平均で、1.1億円程度となっています。  
光熱費、施設管理委託費の割合が多い状況となっています。

### ① 施設関連経費の概要

- 施設整備費 : 施設の増改築や大規模な改修等に関わる費用。  
この5年間では大きな支出はなく、平成28年度のポー川史跡公園のトイレ改修、29年度の総合体育館の玄関改修等が計上
- その他施設整備費 : 屋外附帯施設等の施設整備の他、設備の更新等に関わる費用。  
給食センターの機器及び文化ホールの調理台の更新等が計上。
- 維持修繕費 : 部分的な補修や取替等。5か年平均して年間2,000万円程度。
- 光熱費等 : 灯油・重油、電気、ガス料金。5か年平均して3,500万円程度。施設維持管理費の3割を占めている。
- 水道料・委託費等 : 上下水道料金、管理委託費等。5か年平均で5,000万円程度。施設管理費の4割以上を占めている。

### ■直近5年間の施設関連経費の推移



### 【参考：■直近5年間の施設維持管理費の推移】

(単位：千円)

	2015 (H27年度)	2016 (H28年度)	2017 (H29年度)	2018 (H30年度)	2019 (H31年度)	直近 5ヶ年平均
施設整備費	417	7,000	2,706	1,720	0	2,369 (2%)
その他施設整備費	0	2,011	6,550	5,465	1,424	3,090 (3%)
維持修繕費	31,237	16,498	17,812	9,926	22,228	19,540 (18%)
光熱費	31,835	29,287	37,641	37,970	37,626	34,871 (31%)
水道料・管理委託費	44,740	43,904	53,641	55,116	57,530	50,986 (46%)
計	108,229	98,700	118,350	110,197	118,808	110,857

- ② 施設等の保有量と将来の更新コスト（ポー川史跡自然公園の③～⑪を省く26棟を対象）  
 計画対象施設全体の保有面積は17,578㎡で、町の建築系公共施設全体の面積93,646㎡（公共施設等総合管理計画による）の約2割となっています。  
 対象となる26棟の施設の建設年度と面積をグラフに表すと以下のとおりとなります。  
 26棟の内、建設後10年以内の比較的新しい施設は認定こども園「あおぞら」だけで、築20年以上30年未満の施設が36%、築30年以上40年未満の施設が16%、40年以上の施設が37%となっています。

○経年別保有量：築40年以上の施設が4割弱と最も多い

- ・40年以上の建物11棟（6,509㎡・37%）、30年以上40年未満は4棟（2,876㎡・16%）、20年以上30年未満の建物10棟（6,363㎡・36%）、10年以上20年未満の建物（川北こども園増築分）（287㎡・2%）、10年未満は1棟（1,543㎡・9%）

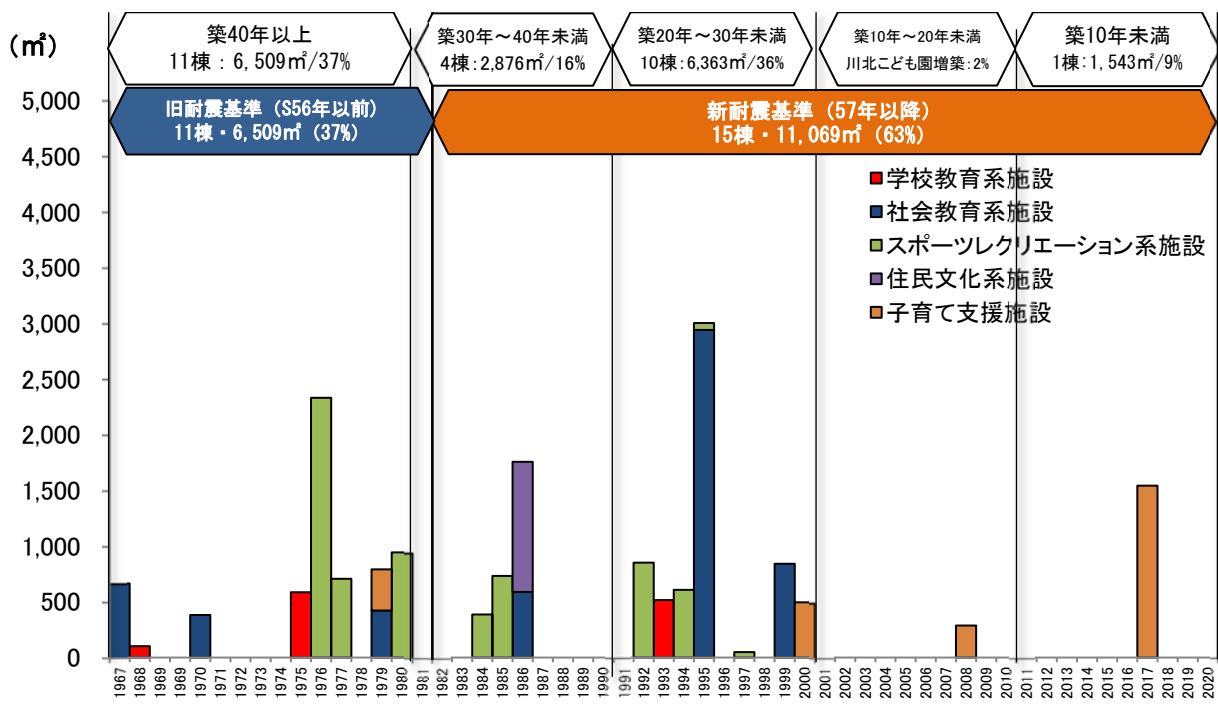
○施設別保有量：スポーツ・レクリエーション系施設が最も多い。

- ・学校教育系施設は3施設：1,202㎡・7%
- ・社会教育系施設は4施設：5,841㎡・33%
- ・スポーツ・レクリエーション系施設は10施設：6,672㎡・38%
- ・住民文化系施設は1施設：1,168㎡・7%
- ・子育て施設は4施設：2,695㎡・15%

○耐震基準別保有量：旧耐震基準\*の施設は11棟・4割

- ・旧耐震基準の施設：11棟：6,509㎡・37%
- ・新体新基準の施設：15棟：11,069㎡・63%

■建設年別面積別対象施設の状況



※：新耐震基準とは、昭和56(1981)年に改正された建築基準法の耐震基準。震度6強から7に達する程度の大規模地震にも安全を確保するという規定が加わっている。旧耐震基準はそれ以前に使用されていた耐震基準。

ロ) 今後の維持・更新コスト (従来型)

今後、現在の施設保有面積を維持しつつ改築中心の従来型の維持管理（50年で建替（ここでは同規模での建替）、20年ごとに大規模改修）を行うと仮定すると、今後40年間にかかるコストは総額86億円と試算されます。

■現在状況からの今後の維持・管理コスト (従来型) の試算 (但し光熱水費・委託費を除く)

ここでは、20年ごとに大規模改修、50年で同規模での改築を行うとして試算しています。

○試算根拠：文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」付属ソフトによる試算

○試算条件：・事業サイクルは、20年ごとに大規模改修、築後50年で改築と設定

- ・金額設定
  - － 改築費：400,000円/m<sup>2</sup>\*
  - － 大規模改修費：改築費の25%で設定
- ・改築面積は現在面積と同じ

□今後40年間のコスト

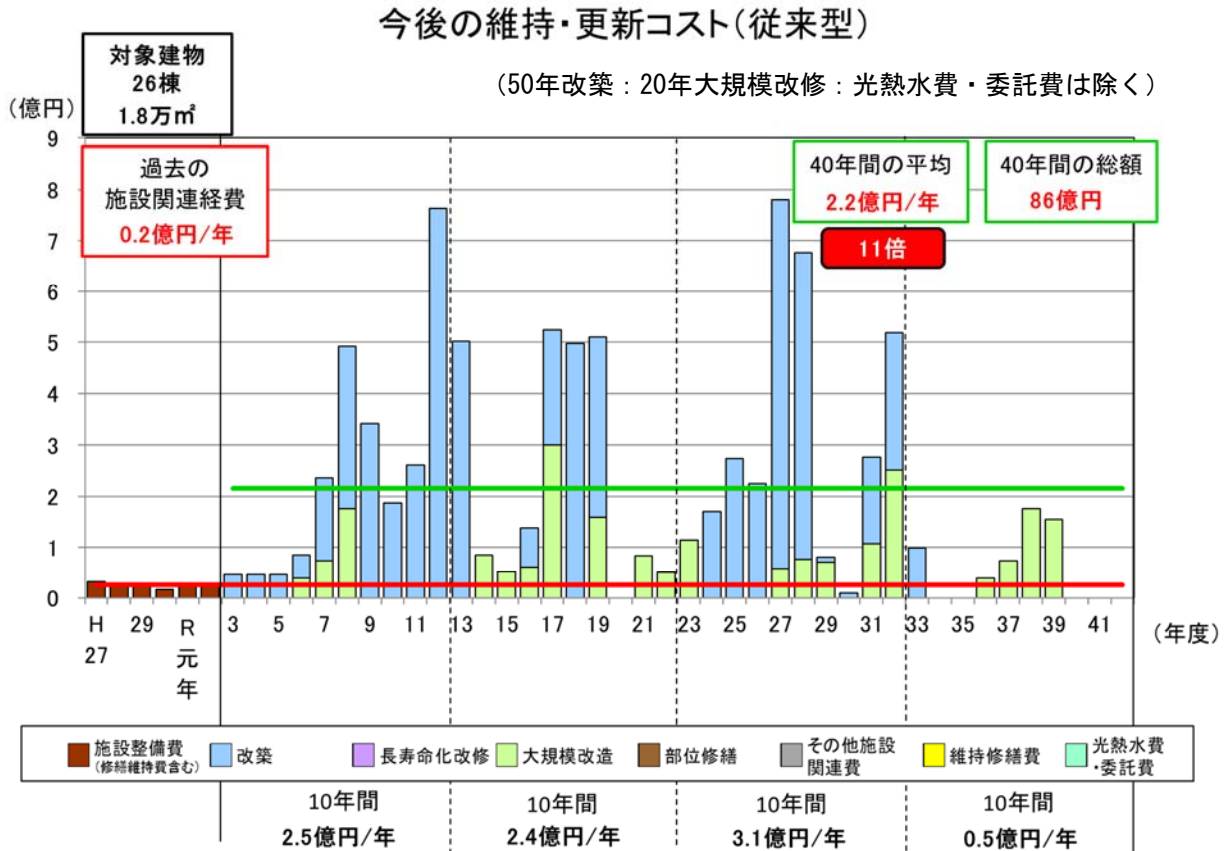
- ・事業費は総額86億円と試算される

□直近5年間の施設関連経費との比較

- ・維持更新コスト試算は、年平均2.2億円となり、光熱水費を除く直近5年間の年間施設関連経費（0.2億円）と比較すると、約11倍となる

□10年ごとの期間区分でのコスト

- ・令和23(2041)年からの10年間で最も事業費が高く、年平均3.1億円となっている
- ・次に高いのは、改築が重なる令和3（2021）年からの10年間で、年平均2.5億円となっている



※：町公共施設等総合管理計画による単価

### ③ 運営状況・活用状況等の実態を踏まえた課題

教育施設の運営状況・活用状況等の実態を踏まえた課題は、以下のように考えられます。

- 1) 人口減少、少子高齢化の進展により利用者が減少している一方、新しい施設が建設されても、機能分担がうまく行われていない状況もあります。今後は適正な規模・使いやすい施設整備を目指す必要があります。
- 2) 施設関連経費の経常的な支出は大きく、特に光熱水費、委託費の支出が多くなっています。今後は計画的な運用と削減への検討が必要となります。
- 3) 築後長い年月が経過した施設の割合が高く、それらの改築に加え、比較的築後年数が浅い施設の大規模改修が時期的に重複するなど、短期間に膨大な更新・維持コストが集中して必要となることが予想されます。

## (5) 施設老朽化の実態

ここでは、教育施設の老朽化状況の把握を「構造躯体の健全性の把握」と「躯体以外の劣化状況の把握」から行い、長寿命化を行った場合の今後の維持・更新コストを試算し、現状と課題を整理します。

### ① 構造躯体の健全性の評価

計画対象施設の構造躯体の健全性については、〈耐震安全性〉と〈長寿命化判定〉の2点から整理します。

#### イ) 耐震安全性

耐震安全性は、既往の耐震診断および耐震補強等工事実績に基づき判定します。対象建物においては、旧耐震基準に基づく建物（昭和56年以前建設）は11棟あります。

耐震診断の状況及び結果に基づく性能確保の状況は以下のとおりです。

耐震診断未実施：5棟 耐震性能：不明	耐震診断済：6棟	耐震性能
・北標津保管庫	・総合体育館・管理棟 → OK → → →	○
・薫別保管庫	・総合体育館・アリーナ棟 → NG → 未補強	×
・屋内水泳プール	・図書館 → NG → 未補強	×
・北標津体育館	・ポー川史跡公園 博物館 → OK → → →	○
・ポー川管理事務所	・川北生涯学習センター → NG → 未補強	×
	・川北幼稚園（当時） → NG → 補強済	○

#### ロ) 長寿命化判定

今後の維持・更新における長寿命化活用の可能性は、文部科学省が示す〔長寿命化の判定フロー〕（次ページ〈参考〉長寿命化の判定フロー）に基づき判定します。

本計画では、旧耐震でかつ耐震診断が未実施のもの、及び耐震診断NGで補強が未実施のもの、について「要調査」建物と判断します。

■長寿命化活用の可能性の判定

建物基本情報									構造躯体の健全性					
番号	施設名	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		
						西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/㎡)	試算上の区分
1	学校給食センター		RC	1	515	1993	H5	27	新	-	-	-	-	長寿命
2	北標津保管庫		S	1	101	1968	S43	52	旧	構造躯体の安全性が未確認			要調査	
3	薫別保管庫		S	1	586	1975	S50	45	旧	構造躯体の安全性が未確認			要調査	
4	標津町図書館		RC	2	665	1967	S42	53	旧	済	NG	H24	18	要調査
5	標津町生涯学習センター	あすばる	RC	1	2,942	1995	H7	25	新	-	-	-	-	長寿命
	標津町生涯学習センター	ふるさと館	RC	1	842	1999	H11	21	新	-	-	-	-	長寿命
6	川北生涯学習センター		RC	2	381	1970	S45	50	旧	済	NG	H24	21	要調査
	川北コミュニティセンター		RC	2	589	1986	S61	34	新	-	-			長寿命
7	ポー川史跡	管理事務所	W	1	77	1979	S54	41	旧	構造躯体の安全性が未確認			要調査	
	ポー川史跡	博物館	RC	1	345	1979	S54	41	旧	済	OK	H25	21	長寿命
8	標津町総合体育館	管理棟	RC	2	765	1976	S51	44	旧	済	OK	H20	17	長寿命
	標津町総合体育館	アリーナ棟	RC	2	1,568	1976	S51	44	旧	済	NG	H20	17	要調査
9	屋内水泳プール	プール	S	1	944	1980	S55	40	旧	構造躯体の安全性が未確認			要調査	
10	スケートリンクハウス		W	1	244	1994	H6	26	新					長寿命
11	鳩ヶ丘体育館		S	2	733	1985	S60	35	新					長寿命
12	望ヶ丘パークゴルフ休憩ハウス		W	1	48	1997	H9	23	新					長寿命
13	川北体育館		S	1	852	1992	H4	28	新					長寿命
14	川北パークゴルフ場管理棟		W	1	62	1995	H7	25	新					長寿命
15	茶志骨コミュニティセンター		S	1	363	1994	H6	26	新					長寿命
16	上古多糠体育館		S	1	386	1984	S59	36	新					長寿命
17	北標津体育館		S	1	707	1977	S52	43	旧	構造躯体の安全性が未確認			要調査	
18	文化ホール		RC	2	1,168	1986	S61	34	新					長寿命
19	標津認定子ども園	あおぞら			1,543	2017	H29	3	新					長寿命
20	川北認定子ども園	にじいろ	S	1	657	1979	S54	41	旧	済	済	H20	31	長寿命
21	標津キラリ児童館		S	1	406	2000	H12	20	新					長寿命
22	川北児童館		S	1	89	2000	H12	20	新					長寿命

【参考：長寿命化の判定フロー】

(文部科学省「学校施設の長寿命化に係る解説書」第2章より抜粋)

【判定方法】

計画における「改築」と「長寿命化」(長寿命化改修)の可能性区分を明らかにするため、実施されている耐震診断報告書等を基に、長寿命化改修への適否を選別します。

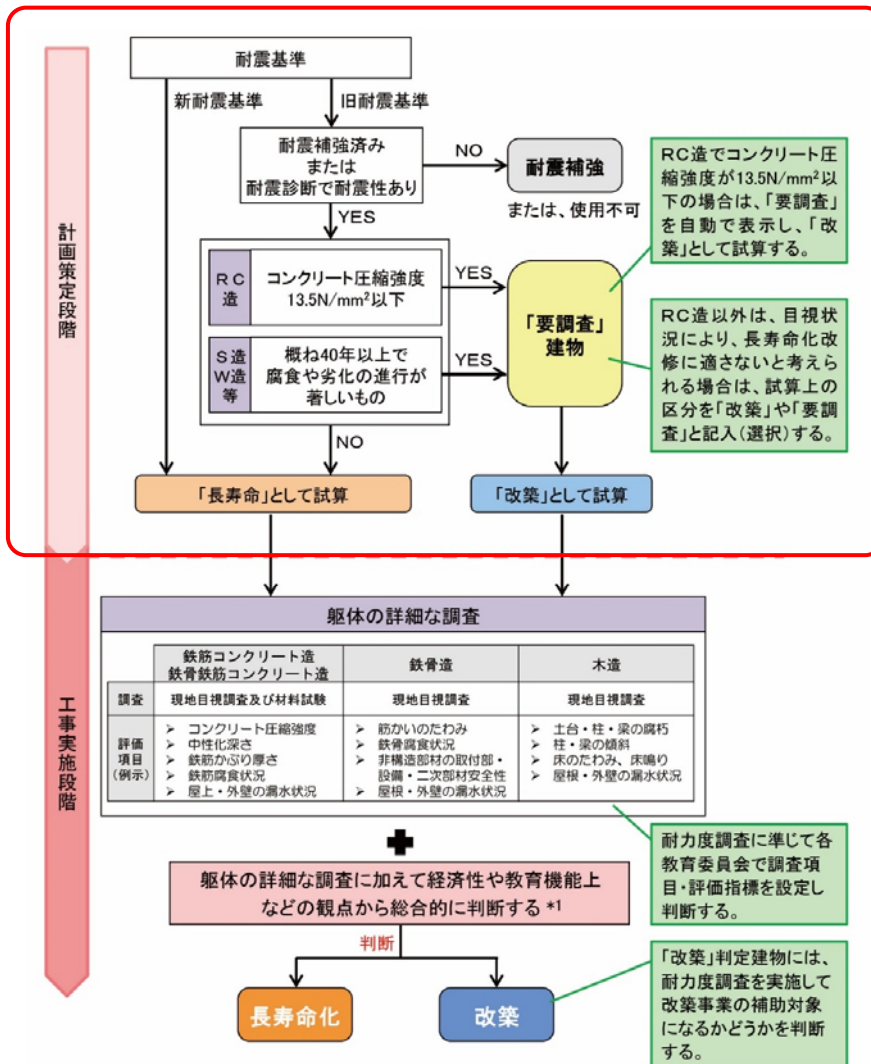
従来のように築50年未満で建替えるのではなく、80年程度の長期に渡って建物を使用するためには、構造躯体が健全でなければ必要な安全性が確保できないこととなります。このため、長寿命化改修に適さない可能性がある建物については、以下の判定に基づき、今後の維持・更新コストを試算する上での区分とします。

【長寿命化活用の可能性判定基準】

- 1) 耐震診断調査において中性化等の到達年数が示されている建物は、その時点における建物の活用判定にあたっては再調査が必要となることから「要調査」とする。
- 2) 上記以外、コンクリート強度や中性化及び鉄骨の腐食等がない建物は、「長寿命判定建物(長寿命化改修可能)」とする。

築後40年程度の段階における長寿命化改修の実施により80~100年程度の活用が可能な建物として判定する。

●フロー図



\*1 例えば、時を重ねて活用され続けた木造建物等は、それ自体が文化財的価値を有することも多く、改築に際しては、こうした観点からの検討も別途行う必要がある。







## ロ) 劣化状況調査による主な所見

### 〔学校教育系施設〕

- ・学校給食センターは、細かな箇所での劣化はあるものの、大きな劣化箇所は見られなかった。防水改修を平成23年に実施。建設から27年が経過しており、外壁の大規模改修が必要な時期となっている。
- ・北標津保管庫、薫別保管庫はともにポー川史跡自然公園関係史料を保管している施設で、現在は雨漏り箇所等の修繕を行いつつ利用している。今後大規模な修繕の予定はなく、使用不可となった段階で次の保管庫への移転を予定している。

### 〔社会教育系施設〕

- ・図書館は「公民館」として建設されてから53年が経過。平成24年の耐震診断時にも『耐震性に疑問あり』『補強が必要』と診断されているが補強工事は未実施。劣化状況調査では、外壁や基礎部分等に大きなクラックがあり、タイルの剥がれ等も見受けられ、健全度も52点と低く、改善が必要である。
- ・生涯学習センター あすばる・ふるさと館は建設から25年が経過しているものの劣化は進んでおらず、健全度は84点・75点と高い。一部防水の膨れやバックアップ材の浮きなどもみられることから、今後は計画的に改修を行うとともに、今年度実施の空調設備点検調査の結果に基づき、設備等も含めた更新が必要となる。
- ・川北生涯学習センターは、耐震診断の結果「1階においてX・Y方向とも、想定する地震に対し『耐震性に疑問あり』とし、『補強工事が必要と判断される』との結果を得ているものの、未実施である。劣化状況調査では屋上防水の膨れ、煙突、階段室等に大きなクラックがみられるなど劣化が進んでいる。建設から50年を経過していることから、今後はコミュニティセンターを含めた当該施設の再整備について、検討が必要である。
- ・ポー川史跡自然公園・管理事務所は建設から40年が経過しているにもかかわらず大規模改修等を実施していないことから、断熱性も低く、手狭で機能的にも使いづらいものとなっている。博物館は平成25年の耐震診断では耐震性能はあるとの判断であるが、外壁の外側に鉄筋が露出している箇所が多く見られ、今後の活用に向けては構造躯体を守るために外装材を上張りするなどの改修が必要とされる。またRC造であること、換気が十分でないことから、湿気がこもりやすく、古文書や書類等の保管には不向きであることも管理上指摘されている。

■図書館柱基礎のクラック



■図書館 階段室クラック



■ポー川博物館 外壁鉄筋 発錆



### 〔スポーツ・レクリエーション系施設〕

- ・総合体育館は、平成20年の耐震診断の際にアリーナ棟について耐震性なしと判断されているが、補強工事は実施していない。また、平成6年10月の震度5の地震（北海道東方沖地震）の際に、建物の一部が沈下したことにより、壁にひび割れが発生したことが指摘されている。平成10年に応急処置として破損した杭基礎のみを改修したものの、上部躯体及び屋根の鉄骨等の改修補強は行っていない。また、不同沈下は現在も続いており『沈下の影響により耐震壁の耐力が低下し、大地震時に破損し崩壊する可能性が高

い』の指摘もあることから、早急な対策が必要とされる。

劣化調査では屋上防水の劣化による雨漏り箇所や、外壁クラックからの漏水、内部の換気も十分とれていないことから、健全度は低く29点となっている。今後の整備については、周辺スポーツ系施設と一体的利用を視野に入れた整備を検討する必要がある。

- ・屋内水泳プールは旧耐震であるにも関わらず耐震診断を行っていない。「標津町屋内水泳プール劣化調査（平成28年度）」においても、『残存耐用年数は0年、早急な耐震診断・改善の必要性あり』との指摘がある。劣化調査では躯体となる鉄骨の発錆や床面のクラック、地盤の沈下が躯体にも影響している状況が指摘され、健全度は全施設の中で最も低く19点となっている。

子ども達も利用する施設として、早急な改善が必要とされる。

- ・鳩ヶ丘体育館は、屋根・外壁、アリーナ床ともに修繕を実施しており外装・内装については大きな問題は無いが、換気が不十分なことが内装の傷みにもつながっていることから、設備等の更新が必要と判断される。
- ・川北体育館は屋根・外壁の修繕を実施してから10年以上が経過していることから、再塗装等の全体修繕が必要な時期を迎えている。また、川北児童館の子どもたちがトレーニング室を自習室として利用しており、換気・採光等の改善が必要である。
- ・川北パークゴルフ場管理棟は全体に良好であるが、外壁の塗装が南・西面において劣化が進んでおり、再塗装の必要がある。
- ・茶志骨コミュニティセンター（体育館）は、屋根や外部ブレースも含めた外壁の劣化が進んでおり、今後の利用に向けては全体的な改善が必要となる。

■総合体育館 外壁クラック



■屋内水泳プール鉄骨のさび



### [住民文化系施設]

- ・文化ホールは、外壁等に著しい劣化は認められないが、屋上防水に雑草が繁茂しており、早急に改善が必要であることから屋根の判定を「D」としている。その他塔屋へ出る階段にクラックや雨漏り跡等の雨が吹き込んだ形跡があるなど、今後の利用に向けて改善が必要である。

■文化ホール屋上の雑草



**[子育て支援系施設]**

- ・川北認定こども園は、複雑な屋根形状に起因した氷柱や氷の影響を冬期間に大きく受け、外壁や中庭の備品等が損傷している箇所が多い。また、外壁面、開口部でのシーリングの劣化が目立つ。また、保育室の中へのトイレ設置や壁面に突出したフック等、衛生上あるいは安全上の課題が多い。
- ・標津キラリ児童館は、建設から20年程度で大きな劣化はないものの、断熱性能が低いことから、夏暑く、冬寒い施設となっている。断熱改修も必要ではあるものの、現在の利用状況を踏まえた早急な対応として、通風の確保に向けた建具等の交換等を行う必要がある。
- ・川北児童館は、大きな劣化はないものの、屋根の換気部分からと思われる雨漏りがあり、建設後20年経過時点での大規模修繕が必要な時期を迎えている。全体としてスペースが狭いことから川北体育館の一部も一部利用している。

**ハ) 施設情報・評価結果一覧**

構造躯体以外の劣化状況では、昭和40年代に建設された旧耐震基準建物である「標津町総合体育館」「屋内水泳プール」がいずれも屋根、屋上・外壁が「D」判定となっており、健全度も30点以下と建物の劣化が進行している状況です。

**■ 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況評価**

健全度が40点以下の施設

建物基本情報							構造躯体の健全性					劣化状況評価							
							耐震安全性			長寿命化判定		劣化状況評価							
番号	施設名	建物名	構造	階数	面積	建築年度 西暦 和暦	築年	基準	診断	補強	調査 年度	圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )	試算上 の区分	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)
1	学校給食センター		RC	1	515	1993 H5	27	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77
2	北標津保管庫		S	1	101	1968 S43	52	旧			-		要調査	C	B	C	C	C	50
3	薫別保管庫		S	1	586	1975 S50	45	旧			-		要調査	B	C	C	C	C	43
4	標津町図書館		RC	2	665	1967 S42	53	旧	済	-	H24	18	要調査	B	C	C	B	B	52
5	標津町生涯学習センター	あすばる	RC	1	2,942	1995 H7	25	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	B	B	84
	標津町生涯学習センター	ふるさと館	RC	1	842	1999 H11	21	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
6	川北生涯学習センター		RC	2	381	1970 S45	50	旧	済	-	H24	21	要調査	B	C	C	B	B	52
	川北コミュニティセンター		RC	2	589	1986 S61	34	新	-	-			長寿命	B	B	B	B	B	75
7	ポー川史跡	管理事務所	W	1	77	1979 S54	41	旧	-	-			要調査	C	C	C	C	C	40
	ポー川史跡	博物館	RC	1	345	1979 S54	41	旧	済	-	H25	21	長寿命	C	D	C	C	C	31
8	標津町総合体育館	管理棟	RC	2	765	1976 S51	44	旧	済	-	H20	17	長寿命	D	D	C	C	C	29
	標津町総合体育館	アリーナ棟	RC	2	1,568	1976 S51	44	旧	済	-	H20	17	要調査	D	D	C	C	C	29
9	屋内水泳プール	プール	S	1	944	1980 S55	40	旧	-	-			要調査	D	D	D	B	D	19
10	スケートリンクハウス		W	1	244	1994 H6	26	新					長寿命	C	C	B	B	B	62
11	鳩ヶ丘体育館		S	2	733	1985 S60	35	新					長寿命	A	A	B	B	D	76
12	望ヶ丘パルクの休憩ハウス		W	1	48	1997 H9	23	新					長寿命	A	A	B	B	B	84
13	川北体育館		S	1	852	1992 H4	28	新					長寿命	B	B	B	B	B	75
14	川北パークゴルフ場管理棟		W	1	62	1995 H7	25	新					長寿命	B	B	B	B	B	75
15	茶志骨コミュニティセンター		S	1	363	1994 H6	26	新					長寿命	C	B	B	B	B	72
16	上古多穂体育館		S	1	386	1984 S59	36	新					長寿命	B	C	B	B	B	65
17	北標津体育館		S	1	707	1977 S52	43	旧	-	-			要調査	C	C	C	C	C	40
18	文化ホール		RC	2	1,168	1986 S61	34	新					長寿命	D	C	B	B	B	59
19	標津認定子ども園	あおぞら			1,543	2017 H29	3	新					長寿命	A	A	A	A	A	100
20	川北認定子ども園	にじいろ	S	1	657	1979 S54	41	旧	済	済	H20	31	長寿命	B	C	C	C	C	43
21	標津キラリ児童館		S	1	406	2000 H12	20	新					長寿命	B	B	B	B	B	75
22	川北児童館		S	1	89	2000 H12	20	新					長寿命	B	B	B	B	B	75



## 二) 今後の維持・更新コスト(長寿命化型) ～ 長寿命化して活用できるものを長寿命化として試算

今後現在の施設保有面積を維持しつつ、改修中心の長寿命化型の維持管理(築後40年をすでに経過している建物については、今後10年間で実施することとし、各年次に均等振り分け)を行うと仮定すると、今後40年間にかかるコストは総額73億円と試算されます。

### ■現在状況からの今後の維持・管理コスト(長寿命化型)の試算(但し、光熱水費等を除く)

今後長寿命化改修中心の保全管理とし、築後45年で長寿命化改修、23年ごとに大規模改修、築後90年で改築を行うとした試算としています。

○試算根拠: 文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」付属ソフトによる試算

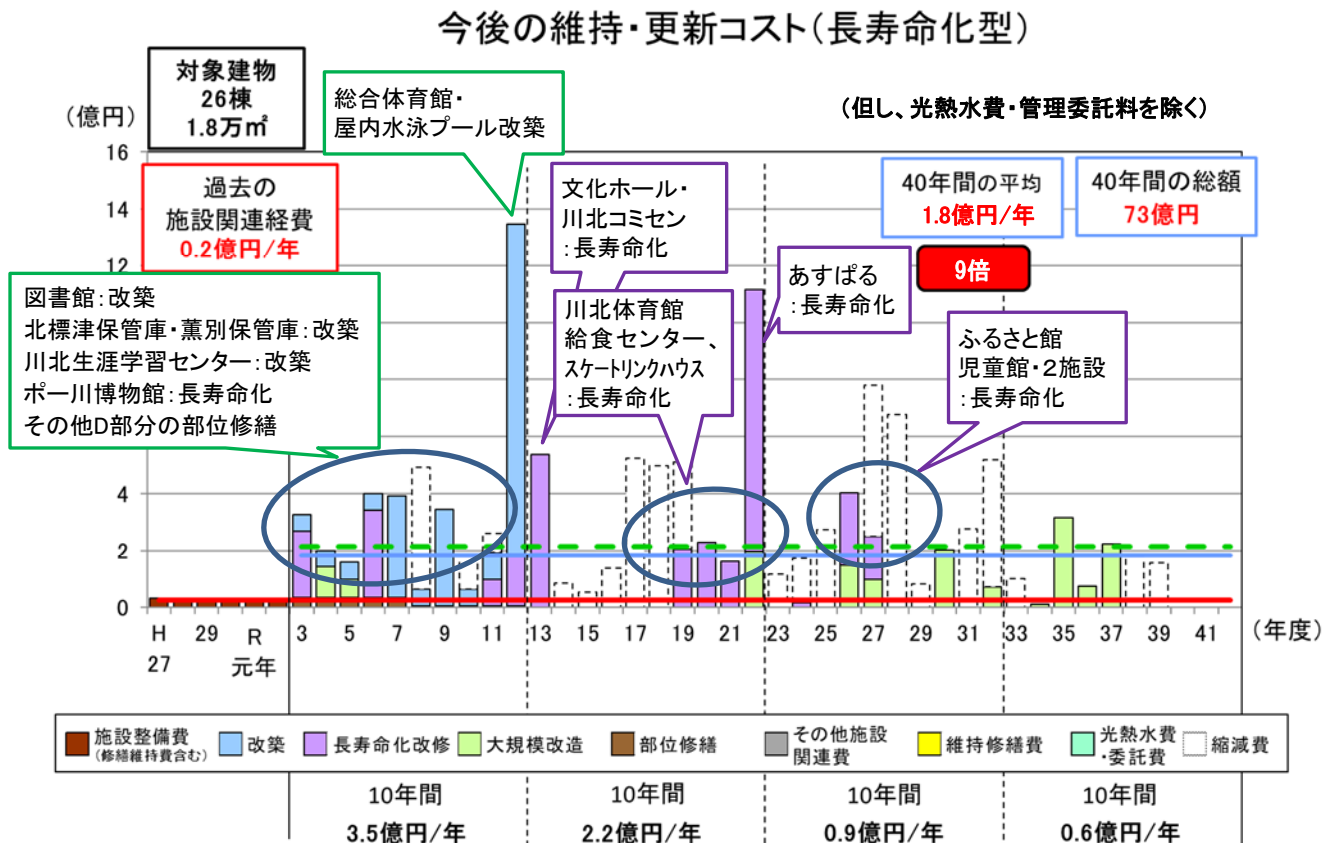
- 試算条件:
- ・事業サイクルは23年ごとに大規模改修・築後45年で長寿命化改修する
  - ・金額設定 ー改築費: 400,000円/㎡、740,000円/㎡(給食センター)
  - ー長寿命化改修費: 改築費の60%、大規模改修費: 改築費の25%で設定
  - ・改築面積は現在面積と同じ

### □今後40年間のコスト

- ・事業費は総額73億円と試算される
- ・従来の建替中心の場合の86億円に比べて13億円、15%のコスト縮減となる

### □10年ごとの期間区分でのコスト

- ・部位修繕や長寿命化改修、大規模改修等が重なる今後10年間で最も事業量が多く、年平均3.5億円となる
- ・次に、長寿命化改修が重なる10年後からの10年間の事業量が多く、年平均2.2億円となる



### ③ 老朽化状況の実態を踏まえた課題

教育施設の劣化状況の実態を踏まえた課題としては以下のように考えられます。

- 1) 構造躯体の耐震性能に問題があり、長寿命化ではなく改築を検討すべき建物がある
- 2) 建設後相当年が経過し、老朽化状況を踏まえ長寿命化だけではなく、改築を検討すべき建物がある
- 3) 改築だけではなく、機能転換や統合を視野に入れた整備が必要な建物がある

## 4 施設整備の基本的な方針等

### (1) 教育施設の規模・配置計画等の方針

#### ① 上位計画・関連計画との整合

本町では、学校施設の老朽化のみならず、少子化に対応した学校づくりについて、地域の実情に応じて検討することの重要性を認識し、令和元年度に「標津町学校施設長寿命化計画」を策定、町内にある小中4校（小学校2校・中学校2校）の今後の整備について、協議を進めています。

本計画では、「公共施設等総合管理計画」に示されている基本的な考え方や、「標津町学校施設長寿命化計画」等との整合を図ったものとして実施されることが必要であり、複合化や共有化を含めて、規模・配置計画等の検討を進めていくこととします。

[参考：「標津町学校施設長寿命化計画」より抜粋]

#### ■ 今後40年間の事業実施計画

今後も、標津市街と川北市街に小中学校を1校ずつ保持することを前提とし、整備を進めることとする。


Step 1：標津小学校・標津中学校を併置校として整備



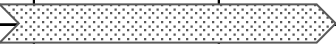



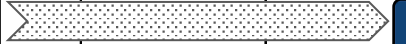






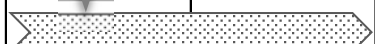








Step 2：川北中学校の大規模改造



Step 3：川北小学校を中学校校舎に併設して改築

 : 点検・経常修繕

地区	施設		事業	2020 (R2) ~	2030 (R12) ~	2040 (R22) ~	2050 (R32) ~	
標津市街	標津小学校	校舎	改築					
		体育館						
	標津中学校	校舎	改築					
		体育館						
川北市街	川北小学校	校舎	改築					
		体育館	除却					
	川北中学校	校舎	長寿命化					
		体育館	長寿命化					

② 今後の教育施設等の整備・活用方針




本町教育施設においては、町民が身近に利用する施設でありながら、耐震性能の確保が未確認である施設があることから、本計画ではそれら施設の更新を急務の課題として捉え、今後の整備に位置づけます。

また本町では、学校施設及び教育施設の光熱水費や管理委託費を含む維持管理費（ランニングコスト）が大きいこと、人口減少・少子高齢化を含むこれからのまちの将来像を見据え、今後は保有面積の縮減や複合化を視野に入れて検討を進めることとします。

今後の取組みとしての教育施設の整備・活用方針は、「**老朽施設の更新を契機とする施設統合や保有面積縮減による将来負荷の削減**」とします。

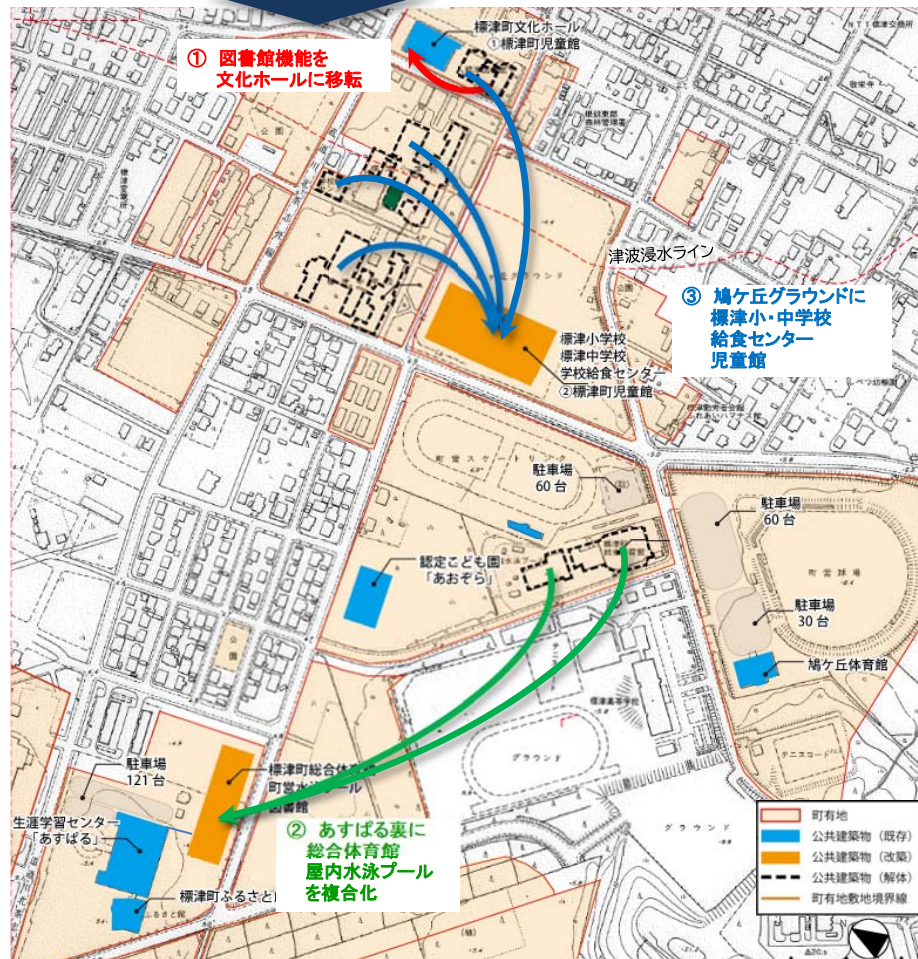
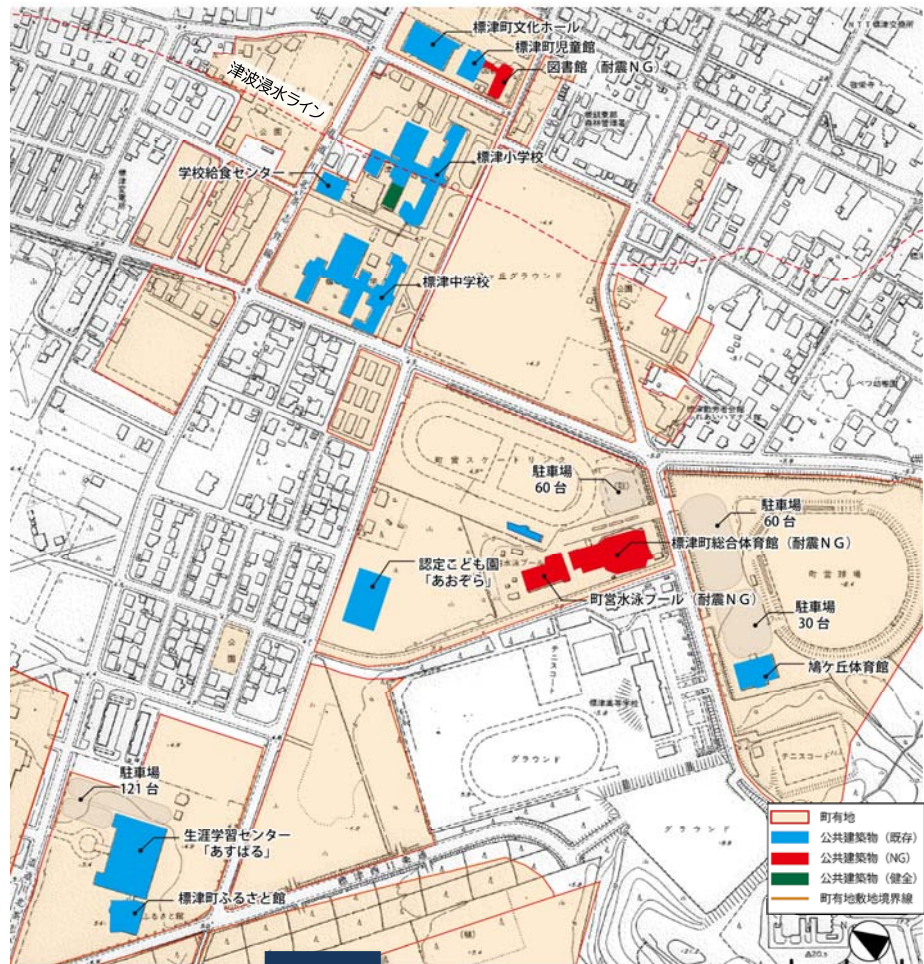
③ 教育施設の配置計画の方針

本町の学校施設及び教育施設は、標津市街及び川北市街にバランスよく配置されていますが、今後は各々の地区における学校施設の再編と連携し、教育施設等が地域コミュニティの核として有効に機能するような施設再編を図ることとします。

標津市街	川北市街	時期
①「図書館」を「文化ホール」に機能移転  ②「総合体育館」と「屋内水泳プール」をあすばる 裏に移転複合化 	①川北生涯学習センターを用途廃止 事務機能は川北体育館へ、貸館機能は地域の施設等を活用することを検討 	計画期間
③標津小・中学校＋給食センター＋児童館を鳩ヶ丘グラウンドに集約	②川北小学校の移転改築 → 中学校に隣接 ＋児童館＋子ども園も移転集約	その後10年間

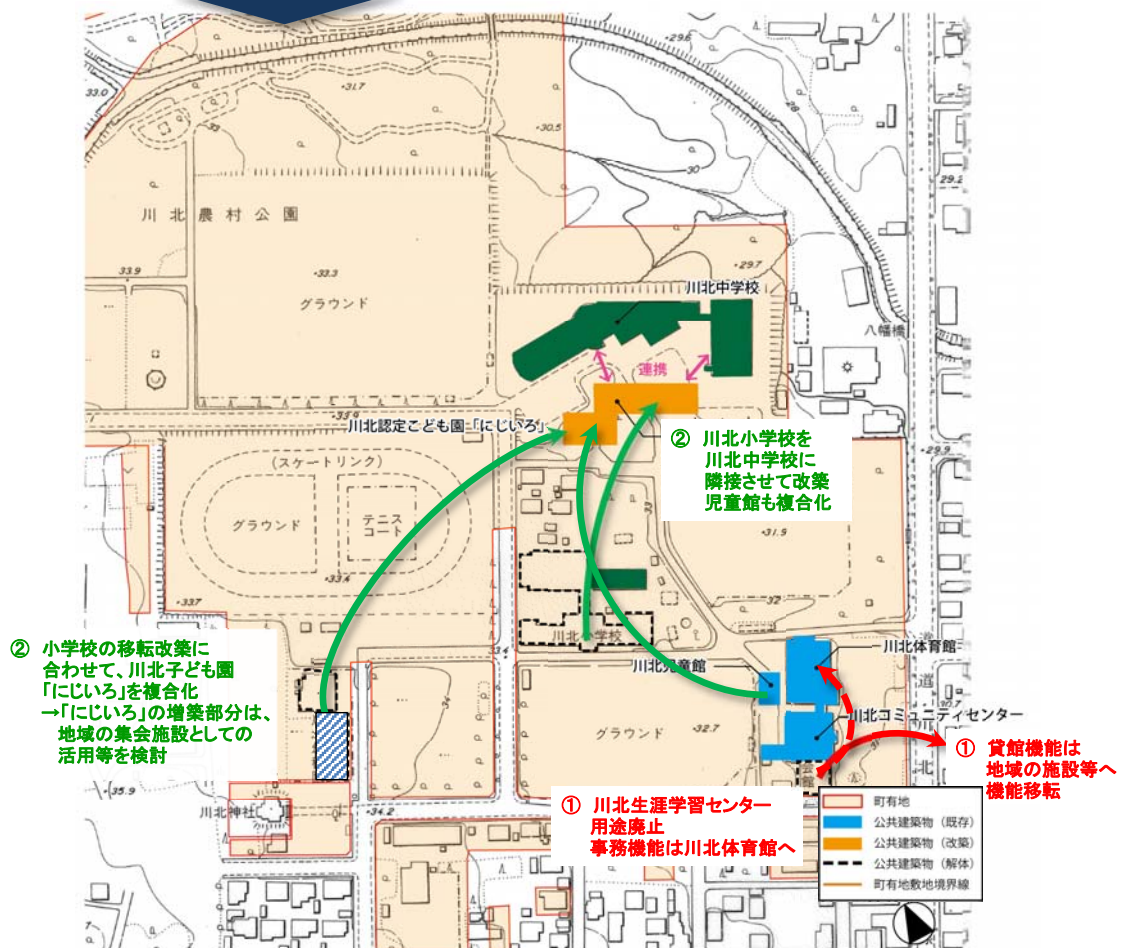
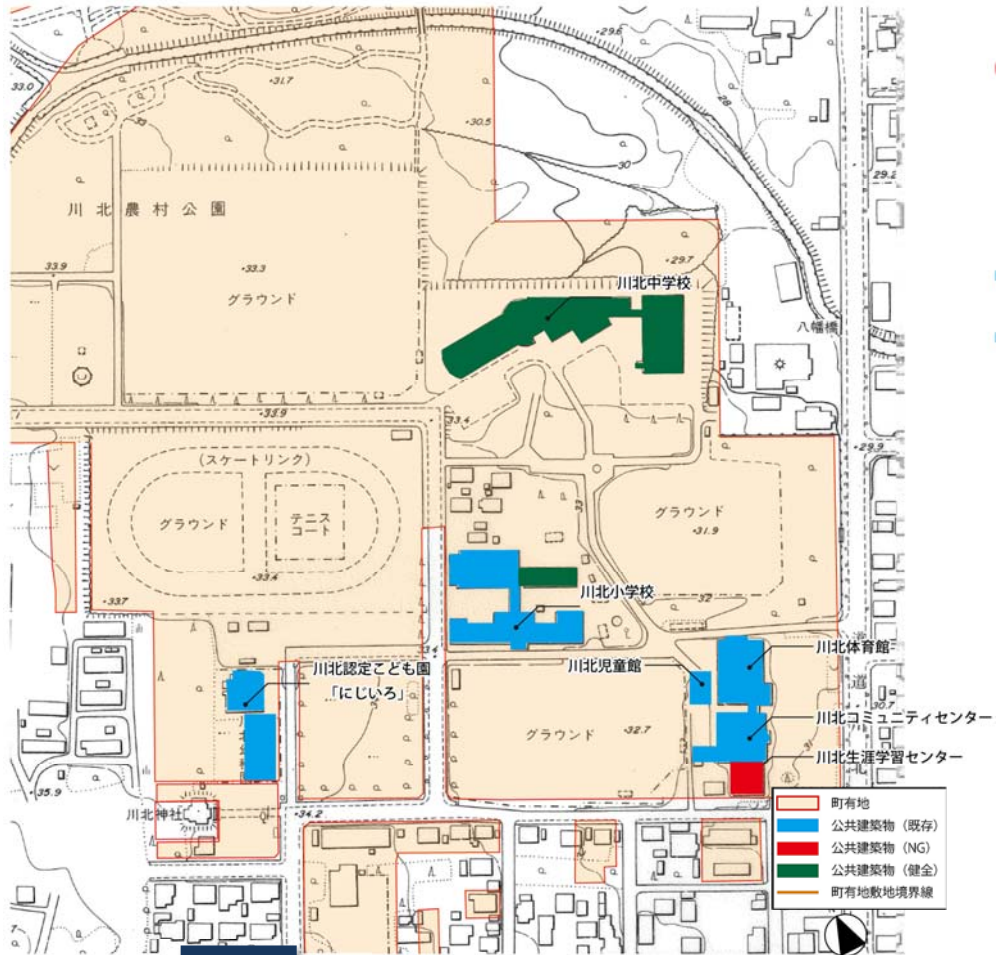


[標津市街]





[川北市街]



## (2) 改修等の基本的な方針

本町教育施設においては、耐震性能に不安のあるものを除き、長寿命化によるメリットが大きいことを踏まえ、今後は各施設の実態に併せ、長寿命化改修に取り組むこととします。今後の改修及び長寿命化の基本的な方針は以下のとおりとします。

### ① 長寿命化の方針

厳しい財政状況の下、従来型の改築を前提とした対策では対応しきれないことから、近年整備の施設は可能な限り長寿命化改修と大規模改修（老朽）を組み合わせながら施設の状態を健全に保ち、できるだけ長く利用することを目指します。

新規整備及び改修後の施設にあつては、定期的な大規模改修及び計画修繕による維持保全を図ることとし、中長期的な維持管理等に係わるトータルコストの縮減や予算の平準化に努めます。

長寿命化改修の方針	
<b>【長寿命化改修の方針】</b>	
長寿命化改修の実施にあたっては、施設活用寿命の延命を目的とした機能向上を取組方針とし、必要な機能や性能の全体的な改善を行います。	
○〈計画修繕〉	：計画修繕周期に基づく経年劣化の機能・性能回復
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画修繕は、建築の部位や設備機器類の更新周期を踏まえつつ、可能な限り大規模改修や長寿命化改修に合わせて実施することとします。</li> <li>・長寿命化改修の実施も計画修繕周期に応じた対応は基本事項であり、以下の機能向上項目と重複する際には、連動した取組として実施します。</li> </ul>	
○〈大規模改修〉	：20～25年周期の大規模修繕
<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備機器類の更新期と連動する全面的な定期修繕を実施します。</li> </ul>	
○〈長寿命化改修〉	：長寿命化の要求に対応するための機能向上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育施設の目指すべき姿を実現目標とする学校教育や、地域連携等の変化に対応できる機能向上を目的として実施します。</li> <li>・現時点において求められる断熱性能の確保や自然エネルギー活用による性能向上を目的としてエコ改修を実施します。</li> </ul>	

### ② 予防保全の方針

施設をできる限り長く使うため、適切な維持管理を行っていくことが重要であり、そのためには「事後保全」だけでなく「予防保全」を導入することが必要です。

予防保全の導入は、突発的な事故や費用発生を減少するとともに、施設の不具合による被害リスクの緩和や改修や日常の維持管理費を平準化し、中長期的なトータルコストを下げる効果もあります。一方で、毎年の維持管理費として一定程度の費用を見込むことも必要です。

「事後保全」：老朽化による劣化・破損等の大規模な不具合が生じた後に行う修繕等

「予防保全」：損傷が警備である早期段階から予防的な修繕等を実施することによる機能・性能の保持・回復

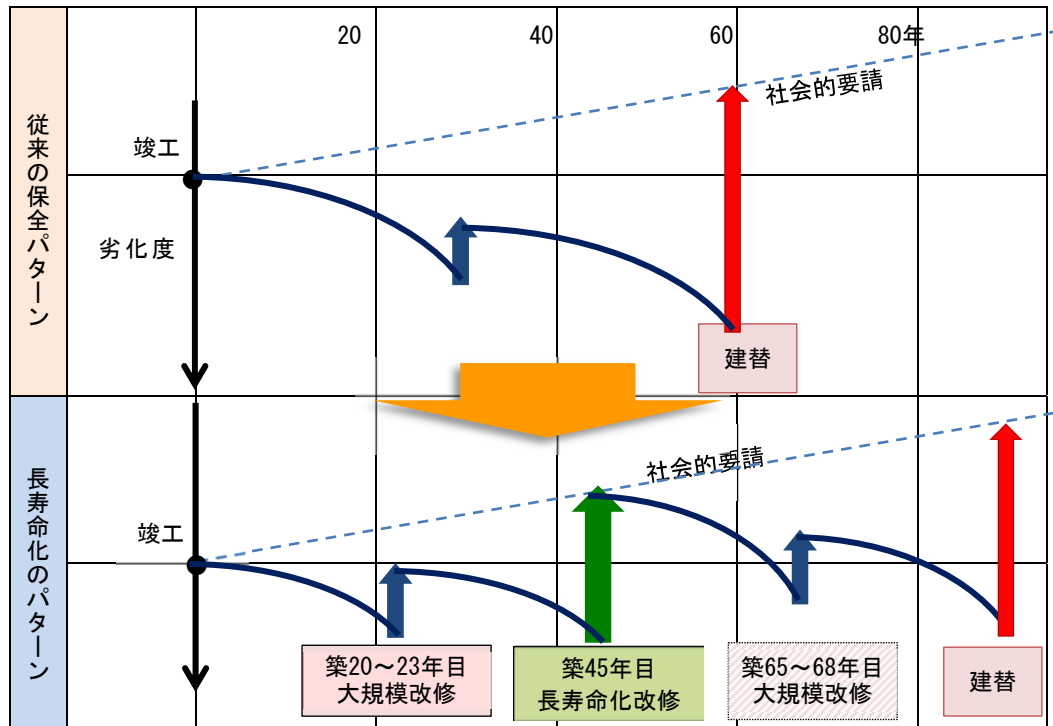
### ③ 目標使用年数、改修周期の設定

従来型の維持保全は、建築後遅くとも50～60年を目途として建替えることを前提に、建物全体ではなく部分的な修繕を複数回にわたって実施する対応となっています。

今後は、施設建物の構造躯体の健全性が保たれている限りにおいて、既存施設を有効に活用することとし、施設の目標使用年数は概ね90年程度と設定し、長寿命化改修の周期を築後45年、大規模改修の周期を築後45年、大規模改修の周期を23年間隔と設定することとします。

目標使用年数、改修周期の設定		
目標使用年数	長寿命化改修の周期	大規模改修の周期
90年程度	45年程度	23年程度

#### ■ 〈従来の保全パターン〉から〈長寿命化のパターン〉への転換



#### ■ 大規模改修及び長寿命化改修の工事内容

築20～23年目 大規模改修	築45年目頃 長寿命化・エコ改修	築65～68年目 大規模改修
経年劣化による損耗や機能低下に対する機能回復工事、設備機器の更新。	経年劣化に対する機能回復工事と、長寿命化のための機能・性能向上工事。	経年劣化による損耗や機能低下に対する機能回復工事、設備機器の更新。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上防水改修</li> <li>・外壁改修</li> <li>・設備機器更新</li> <li>・劣化の著しい部分の修繕</li> <li>・故障、不具合修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防水改修(断熱化)</li> <li>・外壁外断熱改修</li> <li>・開口部改修</li> <li>・全体的な内部改修</li> <li>・全面的な設備改修 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上防水改修</li> <li>・外壁改修</li> <li>・設備機器更新</li> <li>・劣化の著しい部分の修繕</li> <li>・故障、不具合修繕</li> </ul>
コストは新築の25%程度	コストは新築の60%程度	コストは新築の25%程度

## 5 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

### (1) 改修等の整備水準

改修工事の実施にあたっては、教育施設等の老朽化状況の実態を踏まえ、構造躯体の長寿命化や設備等の更新によって建物の耐久性を高めると共に、省エネ化や多様な利用・活動が可能となる環境の提供などの社会的な要請や、本町教育活動の将来展望に 대응することのできる改修を目指します。

改修の整備水準は、施設の基本的性能の向上を図ると共に、省エネやバリアフリー、防災・防犯などの機能と性能向上を図ることを方針とします。

長寿命化改修にあたっては、省エネや再生可能エネルギー利用など、エコ改修の項目を加えた長寿命化エコ改修の可能性についても検討することとします。

#### 【長寿命化改修等の整備水準】

##### ■内外装の改修水準

項目		長寿命エコ改修	長寿命化改修	現状の整備レベル
外部 仕上	屋根屋上	外断熱防水	防水改修	シート防水+コンクリート押エ
	外壁	高耐候外装	外壁塗装	外壁塗装
		外断熱	内断熱補強	
	外部 開口部	高性能樹脂サッシ Low-E複層ガラス	内窓樹脂サッシ (複層ガラス)	アルミサッシ +内窓樹脂サッシ
内部 仕上	内部仕上	内装の全面撤去・更新 内装木質化・木床組・		既存
	便所	内装の全面撤去・更新		

##### ■長寿命化改修、エコ改修等の整備内容

項目	整備空間・機能・性能
安全性	防災備蓄/自家発電/防犯監視/木床組
快適性	オープンスクール/交流空間/スロープ、エレベーター/ 内装木質化/便所ドライ化、多目的トイレ/外断熱、躯体蓄熱
学習活動への 適応性	豊かな教室回り/多様な学習の場/ランチルーム/メディアセンター
環境への適応性 (エコ改修)	エネルギーの見える化/太陽光発電/LED照明/高断熱・高気密
地域の拠点化	地域開放/避難施設機能



(2) 維持管理の項目・手法等

今後、施設の維持管理を効果的・効率的に実施するための点検は、対象建物の躯体以外の劣化状況把握の際に使用した「劣化状況調査票」を点検項目として設定します。

点検は3年に1回（法定点検と同様）程度の実施とし、点検・評価の結果は同調査票に記入しデータベースとして蓄積することにより、将来の劣化予測や改修検討等に活用します。

部位ごとの更新は、「4(2)③目標使用年数、改修周期の設定」に示された工事内容等に基づき、部位材料の修繕周期表<sup>※</sup>等を参考に実施することとします。

〈参考〉

通し番号				調査日		
学校名			学校番号			
建物名				記入者		
棟番号			建築年度	年度( 年度)		
構造種別	延床面積	㎡	階数	地上	階	地下

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)		箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容					
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防カ			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある				
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある				
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある				
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある				
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある				
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ( )			<input type="checkbox"/> 樋やルーフトンを目視点検できない				
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある				
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある				
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある				
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等)			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ				
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 ( )			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている				
	<input type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある				
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある				
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある				
				<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽				
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある				

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井 (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> その他、内部改修工事			
	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

	健全度
	0 / 100点

※「建築物のライフサイクルコスト」(財団法人建築保全センター、平成17年)等を参考に設定

## 6 実施計画

### (1) 改築・改修等の優先順位付け

#### ① 対象施設の整備に関する優先順位

現状施設の運用状況や活用状況、また改修履歴や現在の劣化状況等を総合的に判断し、今後の施設整備の優先順位を以下の4段階で設定します。

<b>【優先順位段階】</b>	
A	緊急性が高く、5～10年以内を目途に建替・用途廃止を進める必要のある施設
B	今後10年以内に建替等について検討を進め、20年以内に建替・用途廃止を行う必要のある施設
C	施設の状況に応じて、10年以内に大規模改修や長寿命化等を行う必要のある施設
D	ここ20年以内は定期的な点検や経常修繕を行い、20年経過以降に改善に着手する施設

#### ■ 今後の方針と優先順位一覧

	施設名 建物名	築年数	今後の方針	優先度
1	学校給食センター	27	防水改修から10年が経過。外壁金属部分には錆も見られるものの、全体としての状態は良好。大規模改修の時期を経過しているが、将来的に小中学校再編の際に合築を想定していることから部位修繕程度にとどめることとする。	B※
2	北標津保管庫	52	令和元年に雨漏りし部分改修を実施。次の保管先の目途が立った時点で用途廃止することとする。(学校の空き教室への保管→ポー川博物館の長寿命化が完了した時点で移転等)	B
3	薫別保管庫	45	雨漏り跡も見られることから、次の保管先の目途が立った時点で用途廃止することとする。(同上)	B
4	標津町図書館	53	数度の改修により健全度は52点。床荷重に不安があることから、図書館としての利用継続は行わないこととする。図書館機能は文化ホールへ一旦移転を想定し、用途廃止について検討する。	A
5	生涯学習センター あすばる	25	健全度は84点と高いが建設から25年を経過しており、大規模改修の時期を迎えている。	C
	生涯学習センター ふるさと館	21	外壁の劣化や雨漏り等が指摘されており、健全度は75点。あすばると同時期に大規模改修を行う。	C
6	川北生涯学習センター	50	建設から50年を経過。耐震性能が確保されていないことから、機能移転の目途が立ち次第、用途廃止を検討する。	A
	川北コミュニティセンター	34	雨漏り跡や、仕上げ材の劣化等が見られる。大規模改修の時期を過ぎていることから、生涯学習センターの解体時に合わせ、大規模改修を実施。	C
7	ポー川史跡 管理事務所	41	健全度は40点と劣化も進んでいるが、断熱性能の低下や機能的にも手狭であることなど、継続活用には難があることから、日本遺産としての整備に合わせ、インフォメーション機能も合わせた施設として建替を行うことを検討する。	B
	ポー川史跡 博物館	41	旧耐震建物であるが耐震性は確保されている。外壁鉄筋が露筋しており、健全度は31点。コンクリート打放し仕上のため湿度が高く、古文書等の紙類展示には適さない。今後は日本遺産としての整備に合わせ、外壁の長寿命化をはじめ土器や化石等の湿度を嫌わない収蔵品の保管・展示に特化した施設として再整備することを検討する。	C

※再編再整備のための改築

	施設名 建物名	築年数	今後の方針	優先度
8	標津町総合体育館	44	防水や設備の改修は行っているものの、劣化度も低く、耐震性能や地盤沈下に不安要素が多いことから、早急に建替を検討する。	A
9	屋内水泳プール	40	数度の改修を行っているものの劣化度も低く、耐震性能等に不安要素が多いことから、早急に建替を検討する。今後は、通年で利用可能な施設を前提に整備することとする。	A
10	スケートリンクハウス	26	建設から 26 年経過。大規模改修の時期を経過していることから、5 年以内を目途に大規模改修を行うこととする。	C
11	鳩ヶ丘体育館	35	外装の再塗装を含む大規模な改修を 10 年以内に実施していることから、継続して維持管理し、20 年後を目途に長寿命化改修を行うこととする	D
12	望ヶ丘パークゴルフ休憩ハウス	23	建設から 23 年が経過。一度も改修工事を行っていないことから、5 年以内に大規模改修を実施することとする。	C
13	川北体育館	28	建設から 28 年が経過。部分的に劣化が見られる。大規模改修の時期を経過しているが、川北生涯学習センターの用途廃止や機能移転に合わせ大規模改修を実施することとする。	C
14	川北パークゴルフ場管理棟	25	建設から 25 年が経過。外壁は 1 度再塗装しているものの、方角によっては塗装の劣化が見られる(西側・南側)5 年程度以内に大規模改修を実施	C
15	茶志骨コミュニティセンター	26	建設から 26 年が経過。近隣住民の利用が多く今後も活用することを踏まえ、5 年程度以内に、大規模改修を実施	C
16	上古多糠体育館	36	近隣住民の利用も減少していることから、用途廃止等に向け検討を進めている。	A
17	北標津体育館	43	近隣住民の利用も減少していることから、用途廃止等に向け検討を進めている。	A
18	文化ホール	34	屋上防水に草が繁茂している、外壁に剥がれやクラックが見られ健全度は 59 点。あすばる建設後は特にホールの利用者が減少しているものの、近年は子育て支援の場としての利用がある。今後は大規模改修を行い図書館機能の一時移転先として、計画的に活用することとする。	C
19	標津認定子ども園 あおぞら	3	建設後 3 年経過の新しい施設。今後は約 20 年後に大規模改修を行うまで定期的な点検等により維持管理を継続する。	D
20	川北認定子ども園 にじいろ	41	改善が必要な箇所は多数あり、劣化度は低く 43 点。川北小学校改築の際に、機能集約を図るために集約移転を想定。その時期までに、部位修繕を行い、継続して維持管理を行う。	B
21	標津キラリ児童館	20	雨漏り跡もあり、経年劣化が多いものの、標津小中学校再編時に、複合化を検討することから、ここ 10 年間には部位修繕程度の改修を行うこととする	B※
22	川北児童館	20	雨漏り跡もあり、経年劣化も進行しているが、機能的にも手狭になっていることを踏まえ、川北小学校改築の際に集約移転を想定。その時期までに、部位修繕を行い、継続して維持管理を行う。	B

※再編再整備のための改築

## ② 学校施設の優先順位

昨年策定した「標津町学校施設長寿命化計画」における、対象施設の優先順位は以下のとおりです。

■優先順位一覧表

区分	総合的な評価		優先順位
標津市街	標津 小学校	・校舎1が建設後50年を経過しており、健全度は14点と極めて低いほか、校舎2を除き体育館を含め健全度30-40点と低く早急な対応が必要である。	A
		・不同沈下の進行が認められ、耐震改修促進計画で安全の向上が特に必要とされていることから、長寿命化の場合は再調査が早急に必要である。 ・利用効率の低下、現行の教育プログラムに未対応、維持管理費の割高への対応も含め、将来的に改築を含む検討が急がれる。	A
	標津 中学校	・校舎1が建設後50年を経過しており、健全度は10点と極めて低いほか、校舎2を除き体育館を含め健全度30点前後と低く早急な対応が必要である。	A
		・不同沈下の進行が認められ、耐震改修促進計画で安全の向上が特に必要とされていることから、長寿命化の場合は再調査が早急に必要である。 ・利用効率の低下、現行の教育プログラムに未対応、維持管理費の割高への対応も含め、将来的に改築を含む検討が急がれる。	B
川北市街	川北 小学校	・校舎2を除き、校舎・体育館共に健全度30-50点程度となっており、一定程度の対応が必要である。	B
		・耐震改修促進計画で安全の向上が特に必要とされていることから、長寿命化の場合は再調査が早急に必要である。 ・利用効率の低下、現行の教育プログラムに未対応、維持管理費の割高などへの対応も含め、将来的な児童数減少への対応を考慮しながら、中学校連携型の改築を含む検討が必要である。	C
	川北 中学校	・校舎・体育館ともに健全度が70点以上であり、計画的な維持管理を進め、適正時期に長寿命化改修を実施する。 ・川北小の改築にあたっては、教室や体育館の共用への運用面での対応、教育上快適で効率的な施設連携を踏まえた対応が必要となる。	D D



## (2) 実施計画

「標津町学校施設長寿命化計画」では、学校施設における中・長期の整備プログラムについて協議・検討を終えています。本計画の策定にあたり、学校施設を含む本町教育施設全体について、優先順位を再整理・再検討することとします。

本計画の対象施設の中には、耐震性能が未確認あるいは不十分である施設も複数あることから、本計画ではそれら施設の更新を優先度の高い事業と位置づけ、整備プログラムを設定することとします。

### ① 中長期40年間の計画

今後の教育施設の中長期的な取組みは、各施設の優先順位の考え方を基に、各施設の実態等に応じた必要な対応を設定するとともに、標津・川北両市街の学校再編を位置づけることとします。

#### ○ステップ1：今後10年以内を想定

：耐震性能に問題がある、若しくは安全性が確認できない施設の解消

- ・「標津町図書館」を「文化ホール」へ機能移転し、現図書館については用途廃止の方向で検討する。
- ・「総合体育館」と「屋内水泳プール」を合築し改築する。総合体育館については、利用を停止できないことから移転建替とし、移転場所は管理の円滑性等を考慮し「生涯学習センター あすばる」裏を想定する。
- ・「川北生涯学習センター」は、用途廃止とし、現在の事務所機能は川北体育館へ移転、貸館については地域の施設等を活用することを検討する。
- ・その他「北標津保管庫」「薫別保管庫」の用途廃止（保管品の移転先を確保の上）

#### ○ステップ2：今後10～20年を想定

：標津小・中学校や川北小学校の改築に伴う周辺施設の再編

- ・「標津小学校」・「標津中学校」を併置校として合築、その際「標津児童館」・「図書館」・「給食センター」等を複合化し、地域住民が利用できるコミュニティの場としての充実や、災害時の避難施設としての機能強化を図る。
- ・「川北小学校」を中学校の横に改築、その際「川北児童館」「川北認定子ども園」も複合化し、子どもを核とした地域住民のためのコミュニティの場として再編する。川北認定こども園の増築部分については、地域の集会施設等への転用等を検討する。

#### ○ステップ3：今後20～40年を想定

：整備・再編した施設の長寿命化改修や大規模改修など計画的な維持管理

- ・標津市街・川北市街ともに、整備した施設の計画的な維持管理の推進



② 今後40年間の事業費試算 ～ 小中学校の改築も視野に入れた事業費試算

本計画において設定した40年間の事業費について、小中学校等の改築も含めて試算すると、以下のとおりとなり、40年間全体では約106億円となります（ただし光熱水費・管理費等を除く）。

10年間単位の事業費では、標津市街、川北市街の学校施設を含む施設再編が行われる令和13年間からの10年間で最も多く約54億円、次に総合体育館及び町民水泳プールの改築を行う令和3年からの10年間で約22億円となります。

しかし20年以降は、建替等大きな事業は発生せず、大規模改修や長寿命化改修の実施のみとなります。

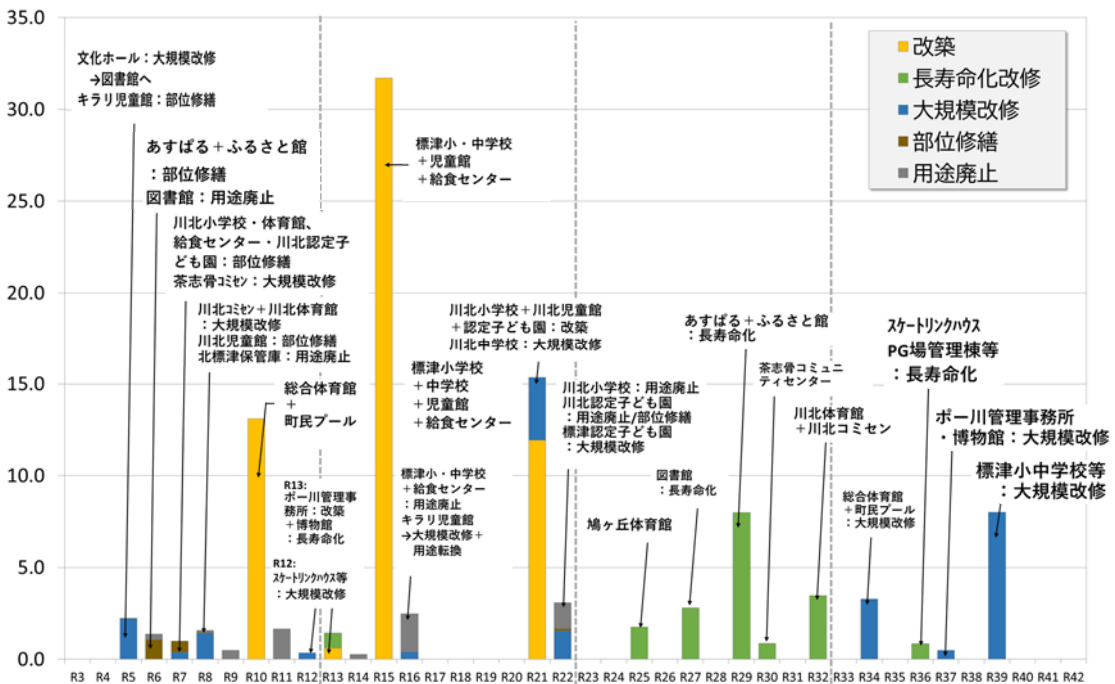
■小中学校改築も含めた今後40年間の事業費試算

（但し光熱水費・管理委託費等は除く）

**シミュレーションの条件等**

■ 試算根拠  
 ○ 文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」付属ソフトに準じた計画的資産として各年次事業と床面積単価を掛け合わせた事業費設定としている

■ 試算条件  
 ○ 各年次の光熱水費、監理委託費及び軽微な修繕等は計上していない  
 ○ わかりやすくするために、すべての工事を単年度で実施するように設定している  
 ○ 改築コストは現在の面積で算定：㎡単価設定  
     学校施設・スポーツ施設：40万円、給食センター：74万円  
 ○ 改修費の設定  
     長寿命化改修：改築費の60%、大規模改修：改築費の25%、部位修繕：改築費の10%と設定



5か年平均所要額 (億円/年)	0.9	3.4	7.2	3.7	0.9	2.5	0.9	1.6
5か年所要額 (億円)	4.6	17.2	35.9	18.4	4.6	12.3	4.6	8.0
10か年平均所要額 (億円/年)	2.2		5.4		1.7		1.3	
10か年所要額 (億円)	21.8		54.3		16.9		12.6	
40年平均所要額 (億円/年)	2.6							
40年所要額 (億円)	105.6							

③ 今後10年間の実施計画

今後10年間の整備計画は、40年計画の当初10年間計画として、財政等の見込み等を考慮の上、個々の教育施設整備を実行していくための実施計画とします。

重点的な取組みとしては、図書館の文化ホールへの移転、町民体育館とプールの建替を実施することとします。

実施計画は以下の通りとしますが、具体的な事業の年度貼り付けにあたっては、導入事業等の年度要件等も考慮し微調整を図るものとします。

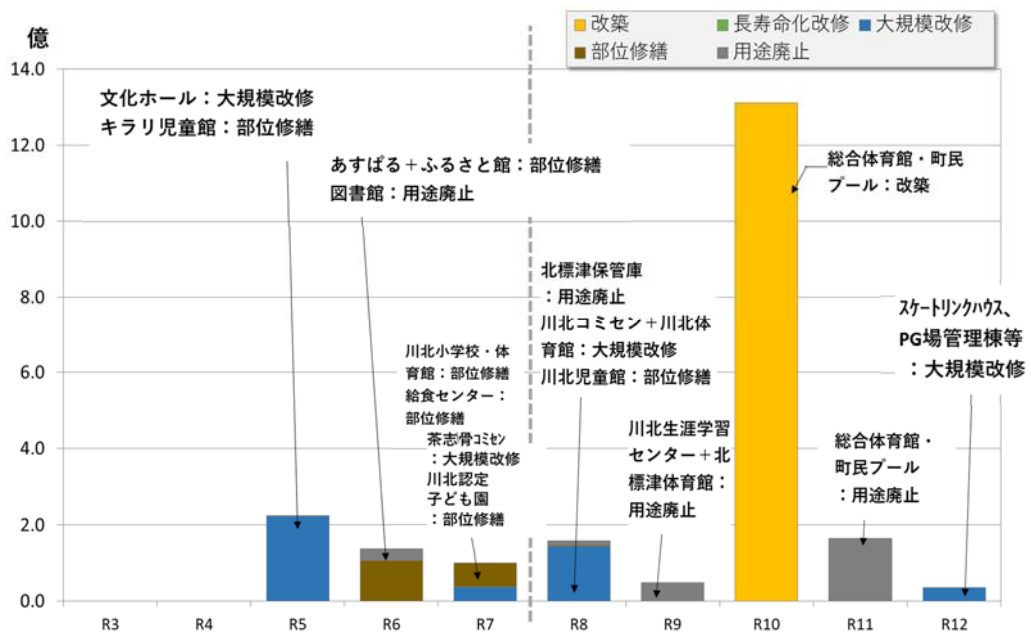
■ 今後10年間の実施計画

施設	計画期間：令和R3(2021)～R12(2030)										
	前期：R3(2021)～7(2025)					後期：2025～29(R7～11)					
	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	
川北小学校					部位 修繕						
学校 給食センター					部位 修繕						
北標津保管庫						用途 廃止					
標津図書館				用途 廃止							
あすばる				部位 修繕							
ふるさと館				部位 修繕							
川北生涯 学習センター							用途 廃止				
川北コミュニティ センター						大規模 改修					
総合体育館								改築	用途 廃止		
町民プール								改築	用途 廃止		
スケートリンク ハウス										大規模 改修	
望ヶ丘スケート リンクハウス										大規模 改修	
川北体育館						大規模 改修					
川北PG場管理棟										大規模 改修	
茶志骨コミュニティ センター					大規模 改修						
上古多糠体育館									用途 廃止		
北標津体育館							用途 廃止				
文化ホール			大規模 改修								
川北認定子ども園					部位 修繕						
標津キラリ児童館			部位 修繕								
川北児童館						部位 修繕					

■ 10年間の事業費試算

現在の、事業計画に基づいた、今後10年間の事業費試算は、以下のとおりとなります。

シミュレーションの条件等	
■ 試算根拠	○ 文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」付属ソフトに準じた計画的資産として各年次事業と床面積単価を掛け合わせた事業費設定としている
■ 試算条件	○ 各年次の光熱水費、監理委託費及び軽微な修繕等は計上していない ○ わかりやすくするために、すべての工事を単年度で実施するように設定している ○ 改築コストは現在の面積で算定：㎡単価設定 学校施設・スポーツ施設：40万円、給食センター：74万円 ○ 改修費の設定 長寿命化改修：改築費の60%、大規模改修：改築費の25%、部位修繕：改築費の10%と設定



5か年平均所要額 (億円/年)	0.9	3.4
5か年所要額 (億円)	4.6	17.2
10か年平均所要額 (億円/年)	2.2	
10か年所要額 (億円)	21.8	

区分	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
改築								13.1		
長寿命化改修										
大規模改修			2.2		0.4	1.4				0.4
部位修繕			0.0	1.1	0.6	0.0				
用途廃止				0.3		0.1	0.5		1.6	
光熱水費・委託費										
計			2.2	1.4	1.0	1.6	0.5	13.1	1.6	0.4

※令和5年度の事業費想定について

- ① 文化センター：大規模改修（文科省の試算ソフトに準じて改築費㎡単価の25%と想定）  
→  $400,000 \times 25\% \times 1,168\text{㎡} = 116,800\text{千円}$
- ② 図書館什器・書架・備品+引越し代金等：105,000千円



## 7 長寿命化の継続的運用方針

---

### (1) 情報基盤の整備と活用

計画の見直し等の基礎資料とするため、建物や設備の施設基本情報については、当該計画策定において整備されたデータベースにおいて管理するとともに、改修・修繕等の履歴や故障の発生状況等をデータベースとして蓄積することとします。

また日常の点検・評価の結果は、データベースと適切に管理し、故障の発生や劣化予測に役立てることとし、「公立学校施設台帳」を適切に活用し、一元管理していくこととします。

### (2) 推進体制等の整備

計画の推進にあたっては、本計画の所管課である教育委員会管理課を中心に、学校教育系施設、社会教育系施設等のマネジメントを行っていくこととします。

また、総合計画への反映や公共施設等総合管理計画との整合調整には、政策部局や財政部局等と連携を図るとともに、日常的な点検を行う施設管理者に対して技術面のサポートは欠かせないことから、建設水道課等の協力も得ることとし、全町的な体制で対応を図ることとします。

### (3) フォローアップ

本計画は、学校施設・教育施設等の改修や建替の優先順位を設定するものであり、町の総合計画等において具体的な年次計画や個別の事業費を精査していくこととします。

また、定期的に計画の進捗状況等についてフォローアップを実施することとします。フォローアップは、事業の進捗状況や劣化調査などの結果を反映し、5年程度を目安に随時見直しを図ることとします。

推進にあたっては、中長期的に計画（Plan）・実行（Do）・Check（評価）・Action（改善）を繰り返すことによって施設の管理運営業務を継続的に改善していく PDCA サイクルの構築を目指します。

〈 資料 〉

■施設別年間利用者数の推移

	施設名	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	直近 5ヶ年平均	直近 5ヶ年計
1	学校給食センター(食数)	511	498	509	504	487	502	2,509
2	北標津保管庫						0	0
3	薫別保管庫						0	0
	学校教育系施設 計	511	498	509	504	487	502	2,509
4	標津町図書館	43,084	28,112	25,448	31,968	25,621	30,847	154,233
5	標津町生涯学習センター	22,910	27,109	26,429	23,824	25,048	25,064	125,320
6	川北生涯学習センター	6,052	6,754	7,218	5,907	6,510	6,488	32,441
7	ポー川史跡自然公園	4,537	4,416	3,895	5,086	5,608	4,708	23,542
	社会教育系施設 計	76,583	66,391	62,990	66,785	62,787	67,107	335,536
8	標津町総合体育館	50,217	49,082	48,422	45,258	42,371	47,070	235,350
9	標津町屋内水泳プール	3,047	2,725	2,985	2,692	2,752	2,840	14,201
10	町営スケートリンク	9,952	7,226	6,881	6,949	6,800	7,562	37,808
11	鳩ヶ丘体育館	1,782	4,609	4,560	4,281	1,689	3,384	16,921
12	望ヶ丘パークゴルフ場	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000
13	川北体育館	9,558	9,924	10,034	11,038	9,016	9,914	49,570
14	川北パークゴルフ場	5,500	5,250	7,300	4,591	5,489	5,626	28,130
15	茶志骨コミュニティセンター	2,056	1,904	1,913	2,017	1,903	1,959	9,793
16	上古多糠体育館	53	31	104	6	0	39	194
17	北標津体育館	164	660	338	287	369	364	1,818
	スポーツ・レクリエーション系施設 計	84,329	83,411	84,537	79,119	72,389	80,757	403,785
18	文化ホール	1,666	3,349	3,278	3,046	3,675	3,003	15,014
	住民文化施設系施設 計	1,666	3,349	3,278	3,046	3,675	3,003	15,014
19	標津認定こども園			138	127	135	80	400
20	川北認定こども園			58	70	65	39	193
21	標津キラリ児童館	6,417	6,211	6,773	6,282	7,385	6,614	33,068
22	川北児童館	8,633	9,855	9,427	9,699	8,544	9,232	46,158
	子育て支援施設 計	15,050	16,066	16,396	16,178	16,129	15,964	79,819
	合計	178,139	169,715	167,710	165,632	155,467	167,333	836,663

■施設別施設整備費等の推移〈施設整備費＋その他施設整備費＋維持修繕費〉

	施設名	建物名	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	直近 5ヶ年平均	直近 5ヶ年計
1	学校給食センター	学校給食センター	12,120,257	4,644,000	7,662,600	7,631,200	13,288,384	9,069,288	45,346,441
2	北標津保管庫	旧北標津小中学校	0	0	0	0	0	0	0
3	薫別保管庫	旧薫別小中学校	0	0	0	0	0	0	0
	学校教育系施設 計		12,120,257	4,644,000	7,662,600	7,631,200	13,288,384	9,069,288	45,346,441
4	標津町図書館		0	209,812	154,602	64,368	69,120	99,580	497,902
5	標津町生涯学習センター	あすばる、ふるさと館	3,485,434	1,550,429	1,428,776	1,591,192	1,997,622	2,010,691	10,053,453
6	川北生涯学習センター		547,970	134,644	663,818	437,724	911,080	539,047	2,695,236
7	ポー川史跡自然公園	管理事務所ほか	270,000	7,000,000	580,000	1,110,000	400,000	1,872,000	9,360,000
	社会教育系施設 計		4,303,404	8,894,885	2,827,196	3,203,284	3,377,822	4,521,318	22,606,591
8	標津町総合体育館	管理棟・アリーナ棟	3,760,000	4,865,000	6,725,000	4,302,000	2,068,000	4,344,000	21,720,000
9	標津町屋内水泳プール		245,000	1,485,000	139,000	110,000	30,000	401,800	2,009,000
10	町営スケートリンク	管理棟	1,352,000	794,000	539,000	631,000	1,320,000	927,200	4,636,000
11	鳩ヶ丘体育館		7,478,000	357,000	0	0	0	1,567,000	7,835,000
12	望ヶ丘パークゴルフ場	管理棟	721,000	791,000	0	0	0	302,400	1,512,000
13	川北体育館		15,120	1,484,136	20,000	13,500	0	306,551	1,532,756
14	川北パークゴルフ場	管理棟	494,000	1,311,000	1,829,000	622,000	920,000	1,035,200	5,176,000
15	茶志骨コミュニティセンター	体育館	0	0	172,000	53,000	1,815,000	408,000	2,040,000
16	上古多糠体育館		0	0	0	0	0	0	0
17	北標津体育館		648,000	200,000	0	0	0	169,600	848,000
	スポーツ・レクリエーション系施設 計		14,713,120	11,287,136	9,424,000	5,731,500	6,153,000	9,461,751	47,308,756
18	文化ホール	農村環境改善センター	442,286	275,508	5,798,195	297,864	471,572	1,457,085	7,285,425
	住民文化施設系施設 計		442,286	275,508	5,798,195	297,864	471,572	1,457,085	7,285,425
19	標津認定こども園	「あおぞら」	0	0	73,591	97,200	67,600	47,678	238,391
20	川北認定こども園	「にじいろ」	34,560	6,480	1,094,537	149,548	254,860	307,997	1,539,985
21	標津キラリ児童館	標津キラリ児童館	39,960	90,720	187,602	0	19,560	67,568	337,842
22	川北児童館	川北児童館	0	310,000	0	0	19,440	65,888	329,440
	子育て支援施設 計		74,520	407,200	1,355,730	246,748	361,460	489,132	2,445,658
	合計		31,653,587	25,508,729	27,067,721	17,110,596	23,652,238	24,998,574	124,992,871



■施設別光熱費の推移

	施設名	建物名	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	直近 5ヶ年平均	直近 5ヶ年計
1	学校給食センター		5,760,000	5,462,000	6,151,000	5,962,000	5,339,000	5,734,800	28,674,000
2	北標津保管庫	旧北標津小中学校	0	0	0	0	0	0	0
3	薫別保管庫	旧薫別小中学校	0	0	0	0	0	0	0
	学校教育系施設 計		5,760,000	5,462,000	6,151,000	5,962,000	5,339,000	5,734,800	28,674,000
4	標津町図書館		1,343,000	995,000	1,013,000	1,180,000	1,057,000	1,117,600	5,588,000
5	標津町生涯学習センター	あすばる、ふるさと館	10,384,000	9,435,000	8,865,000	9,896,000	9,282,000	9,572,400	47,862,000
6	川北生涯学習センター		1,035,000	988,000	1,169,000	1,045,000	1,169,000	1,081,200	5,406,000
7	ポー川史跡自然公園	管理事務所ほか	462,070	512,000	554,010	581,120	611,070	544,054	2,720,270
	社会教育系施設 計		13,224,070	11,930,000	11,601,010	12,702,120	12,119,070	12,315,254	61,576,270
8	標津町総合体育館	管理棟・アリーナ棟	4,930,000	4,332,000	4,728,000	4,850,000	6,101,000	4,988,200	24,941,000
9	標津町屋内水泳プール		844,000	725,000	716,000	1,067,000	899,000	850,200	4,251,000
10	町営スケートリンク	管理棟	598,000	640,000	926,000	778,000	873,000	763,000	3,815,000
11	鳩ヶ丘体育館		657,000	746,000	727,000	677,000	617,000	684,800	3,424,000
12	望ヶ丘パークゴルフ場	管理棟	0	0	0	0	0	0	0
13	川北体育館		1,022,000	1,163,000	1,627,000	1,437,000	1,404,000	1,330,600	6,653,000
14	川北パークゴルフ場	管理棟	143,000	141,000	121,000	122,000	128,000	131,000	655,000
15	茶志骨コミュニティセンター	体育館	531,000	536,000	498,000	500,000	482,000	509,400	2,547,000
16	上古多糠体育館		28,000	19,000	28,000	19,000	18,000	22,400	112,000
17	北標津体育館		161,000	264,000	227,000	166,000	340,000	231,600	1,158,000
	スポーツ・レクリエーション系施設 計		8,914,000	8,566,000	9,598,000	9,616,000	10,862,000	9,511,200	47,556,000
18	文化ホール	農村環境改善センター	2,201,000	1,518,000	1,480,000	1,583,000	1,464,000	1,649,200	8,246,000
	住民文化施設系施設 計		2,201,000	1,518,000	1,480,000	1,583,000	1,464,000	1,649,200	8,246,000
19	標津認定こども園	「あおぞら」	0	0	5,404,000	4,710,000	4,524,000	2,927,600	14,638,000
20	川北認定こども園	「にじいろ」	0	0	1,364,000	1,360,000	1,361,000	817,000	4,085,000
21	標津キラリ児童館		976,000	1,068,000	1,191,000	1,107,000	1,078,000	1,084,000	5,420,000
22	川北児童館		760,000	743,000	852,000	930,000	879,000	832,800	4,164,000
	子育て支援施設 計		1,736,000	1,811,000	8,811,000	8,107,000	7,842,000	5,661,400	28,307,000
	合計		31,835,070	29,287,000	37,641,010	37,970,120	37,626,070	34,871,854	174,359,270

■施設別水道料・維持管理費の推移

	施設名	建物名	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	直近 5ヶ年平均	直近 5ヶ年計
1	学校給食センター	学校給食センター	1,183,000	1,233,000	1,252,000	1,221,000	1,143,000	1,206,400	6,032,000
2	北標津保管庫	旧北標津小中学校	0	0	0	0	0	0	0
3	薫別保管庫	旧薫別小中学校	0	0	0	0	0	0	0
	学校教育系施設 計		1,183,000	1,233,000	1,252,000	1,221,000	1,143,000	1,206,400	6,032,000
4	標津町図書館	標津町図書館	37,000	36,000	40,000	48,000	48,000	44,000	209,000
5	標津町生涯学習センター	あすばる、ふるさと館	189,000	209,000	188,000	196,000	212,000	198,800	994,000
6	川北生涯学習センター	川北生涯学習センター	2,348,000	2,441,000	2,496,000	2,546,000	2,634,000	2,493,000	12,465,000
7	ポー川史跡自然公園	管理事務所ほか	11,155,000	10,809,000	10,767,000	10,674,000	11,299,000	10,940,800	54,704,000
	社会教育系施設 計		13,729,000	13,495,000	13,491,000	13,464,000	14,193,000	13,674,400	68,372,000
8	標津町総合体育館	標津町総合体育館	12,971,000	12,978,000	13,054,000	14,302,000	14,465,000	13,554,000	67,770,000
9	標津町屋内水泳プール	屋内水泳プール	3,911,000	3,814,000	2,729,000	2,706,000	2,746,000	3,181,200	15,906,000
10	町営スケートリンク	スケートリンク	2,025,000	2,077,000	2,468,000	2,613,000	2,736,000	2,383,800	11,919,000
11	鳩ヶ丘体育館	鳩ヶ丘体育館	280,000	278,000	280,000	282,000	284,000	280,800	1,404,000
12	望ヶ丘パークゴルフ場	管理棟	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000
13	川北体育館	川北体育館	5,141,000	5,270,000	5,026,000	5,133,000	5,384,000	5,190,800	25,954,000
14	川北パークゴルフ場	管理棟	2,150,000	2,150,000	2,154,000	2,154,000	2,154,000	2,152,400	10,762,000
15	茶志骨コミュニティセンター	茶志骨コミュニティセンター	19,000	19,000	31,000	31,000	32,000	26,400	132,000
16	上古多糠体育館	上古多糠体育館	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	140,000
17	北標津体育館	北標津体育館	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	180,000
	スポーツ・レクリエーション系施設 計		26,571,000	26,660,000	25,816,000	27,295,000	27,875,000	26,843,400	134,217,000
18	文化ホール	農村環境改善センター	3,121,000	2,375,000	2,281,000	1,970,000	1,885,000	2,326,400	11,632,000
	住民文化施設系施設 計		3,121,000	2,375,000	2,281,000	1,970,000	1,885,000	2,326,400	11,632,000
19	標津認定こども園	「あおぞら」	0	0	8,277,000	8,645,000	9,454,000	5,275,200	26,376,000
20	川北認定こども園	「にじいろ」	0	0	2,382,000	2,381,000	2,840,000	1,520,600	7,603,000
21	標津キラリ児童館	標津キラリ児童館	35,000	40,000	41,000	39,000	39,000	38,800	194,000
22	川北児童館	川北児童館	101,000	101,000	101,000	101,000	101,000	101,000	505,000
	子育て支援施設 計		136,000	141,000	10,801,000	11,166,000	12,434,000	6,935,600	34,678,000
	合計		44,740,000	43,904,000	53,641,000	55,116,000	57,530,000	50,986,200	254,931,000

■劣化状況評価に関わる修繕履歴

		施設名	建物名	建設年度	健全度	大規模改修	劣化状況に関わる主な修繕履歴等
学校教育系施設	1	学校給食センター		H5	77		
	2	北標津保管庫	旧北標津小学校	H17	50		
	3	薫別保管庫	旧薫別小学校	S50	43		
社会教育系施設	4	標津町図書館		S42	52		<ul style="list-style-type: none"> <li>・H3: 1階図書室改修</li> <li>・H8: 2階改修模様替え、外部塗装</li> <li>・H24: 屋上防水補修</li> </ul>
	5	標津町生涯学習センター	あすぱる	H7	84		・H22: 暖房設備中央監視装置更新
			ふるさと館	H11	75		
	6	川北生涯学習センター	生涯学習センター	S45	52		<ul style="list-style-type: none"> <li>・H12: 屋上防水改修</li> <li>・H23: 外装塗装</li> <li>・H29: 非常放送機器更新</li> </ul>
			コミュニティセンター	S61	75		
	7	ポー川史跡自然公園	管理事務所	S54	40		<ul style="list-style-type: none"> <li>・H25: 農家屋根茅葺き替え</li> <li>・H28: トイレ海大規模内部改修</li> <li>・H30: 博物館トイレ洋式化</li> </ul>
			博物館他	S55	31		

		施設名	建物名	建設年度	健全度	大規模改修	劣化状況に関わる主な修繕履歴等
スポーツ・レクリエーション系施設	8	標津町総合体育館	管理棟	S51	29		<ul style="list-style-type: none"> <li>・H1: 屋上防水シート改修</li> <li>・H4: 外壁改修</li> <li>・H17: ボイラー更新</li> <li>・H22: 屋上防水シート塗装</li> <li>・H29: 玄関ドア交換</li> </ul>
			アリーナ棟		29		
	9	標津町屋内水泳プール		S55	19		<ul style="list-style-type: none"> <li>・H20: 東側外壁塗装</li> <li>・H21: 屋根改修</li> <li>・H26: プール層床全塗装</li> </ul>
	10	町営スケートリンク	スケートリンクハウス	H6	62		<ul style="list-style-type: none"> <li>・H10: 防風ネット設置</li> <li>・H18: リンク表面改修、ボイラー設置</li> </ul>
	11	鳩ヶ丘体育館		S60	76		<ul style="list-style-type: none"> <li>・H26: アリーナ床改修</li> <li>・H27: 外壁屋根全面塗装</li> </ul>
	12	望ヶ丘パークゴルフ場	管理棟	H9	84		
	13	川北体育館		H4	75		<ul style="list-style-type: none"> <li>・H19: 西側外壁塗装</li> <li>・H20: 南・北側外壁塗装</li> <li>・H21: 屋根塗装</li> <li>・H22: サッシ排煙窓取替補修</li> <li>・H28: 受変電設備改修</li> </ul>
	14	川北パークゴルフ場	管理棟	H7	75		
	15	茶志骨コミュニティセンター	体育館	H6	72		<ul style="list-style-type: none"> <li>・R1: 排煙窓改修</li> </ul>
	16	上古多糠体育館		S59	65		
17	北標津体育館		S52	40		<ul style="list-style-type: none"> <li>・H27: 屋根一部葺き替え改修</li> </ul>	
住民文化系施設	18	文化ホール	標津町農村環境改善センター	S61	59		<ul style="list-style-type: none"> <li>・H23: 標津町農村環境改善センター整備、受変電設備改修</li> <li>・H29: 調理実習台取替、ボイラー修繕</li> </ul>
子育て支援施設	19	標津認定こども園	あおぞら	H29	100		
	20	川北認定こども園	にじいろ	S49, H15	43		<ul style="list-style-type: none"> <li>・H26: 屋根修繕</li> <li>・H29: ボイラー取替</li> </ul>
	21	標津キラリ児童館		H12	75		
	22	川北児童館		H12	75		<ul style="list-style-type: none"> <li>・H25: エアコン設置</li> <li>・H28: 外給水栓取付</li> </ul>